

# Canon EOS RT



使用説明書



日本語版

# 各部名称

茶字：押しながら電子ダイヤルを回して機能をセットします。

## ①表示パネル

## ②電子ダイヤル

他のボタンとの組み合わせで機能の切り換えとシャッター速度や絞り数字などのセットを行います。

## ③シャッターボタン

二段スイッチになっています。一段目でピントと露出が決まり、二段目でシャッターが切れます。

## ④グリップ／電池室蓋

## ⑤セルフタイマー表示ランプ

## ⑥距離目盛

## ⑩手動フォーカスリング

## ⑫アクセサリシュー

## ⑬メインスイッチ

- L：スイッチオフ
- A：スイッチオン（電子音なし）
- ：スイッチオン（電子音あり）
- RT：スイッチオン（リアルタイム撮影モード）

## ⑭フィルム位置マーク

## ⑮露出補正ボタン

## ⑯撮影モード選択ボタン

## ⑰ストラップ通し

## ⑱裏蓋ロック解除ボタン

## ⑲裏蓋開放レバー

## ⑳レンズ取り外しボタン

## ㉑フォーカスモードスイッチ

ピント合わせの自動／手動を切り換えます。

## ㉒被写界深度確認ボタン

## ㉓手動絞りセットボタン



## ご挨拶

キヤノンEOS RTのお買い上げありがとうございます。

キヤノンEOS RTはこれまでの一眼レフカメラの全反射ミラーに代えて、超薄膜ハーフミラー（ハードコート ニューペリクルミラー）を固定ミラーとして組み込んだカメラで、次のような特長を持ちます。

### 特長

#### 1. 新開発のペリクルミラーを固定ミラーとして採用

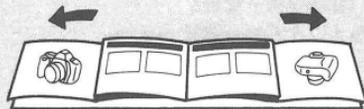
- 撮影時のファインダー像の消失がないため、フィルムに露光中の被写体の動き、表情が確認できる。
- ストロボ同調確認、スローシンクロのレリーズタイミング、マルチ発光および多重露出の構造確認がファインダーを覗いたままでできる。
- レリーズタイムラグが0.008秒と、極端に短いためシャッターチャンスをつまみやすい。
- 固定ミラーのためミラーショックおよび作動音がない。

#### 2. 豊富なカスタム機能を内蔵

#### 3. 高速AFと高速連写を可能

EOSは、完全電子化マウントにより、専用のキヤノンEFレンズとの間でピント・露出調節のための情報交換を行なっています。他社製のレンズをEOSに使用すると、カメラまたはレンズが正常機能を発揮しないことがありますのでご注意ください。また、他社製品との組み合わせ使用に起因する事故、故障等につきましては保証いたしかねます。

表紙と裏表紙の各部名称を図のように開いてご覧ください。各部名称についての番号は本文中の番号と対照できるようになっていますので、操作箇所がすぐにおわかりいただけます。



# 目次

I 「準備編」	5	III 「応用撮影編」	38
1. 撮影の準備	6	1. 露出補正	39
★撮りたいものが画面の中心にないとき：		2. オートブラケティング=自動露出ずらし機構	40
「フォーカスロック撮影」	13	3. 多重露出	42
★オートフォーカスができないとき〔手動ピント合わせ〕	14	4. 部分測光	44
2. リアルタイム撮影の準備	18	5. マニュアル露出	46
3. フィルムの自動巻き戻しについて〔フィルムの途中巻き戻し〕	19	6. バルブ（長時間露出）撮影	48
II 「撮影編」	20	7. フィルム感度の手動セット	50
AFモードのセット：ワンショット	21	8. 白黒赤外フィルム撮影	51
AIサーボ	21	9. フラッシュ撮影	52
フィルム巻き上げモードのセット：一枚撮り	23	IV 「カスタム機能」	54
連続撮影	23	カスタム機能	56
撮影モードのセット	24	使用上のご注意	58
①インテリジェントプログラムAE	25	パネル表示一覧	62
〔プログラムシフト〕	26	ファインダー内表示一覧	63
②シャッター優先AE	27	プログラム線図	64
③絞り優先AE	28	プログラムシフト特性	65
〔深度の確認〕	29	評価測光特性	66
④深度優先AE	30	交換用フォーカシングスクリーンと視度補正レンズ	67
〔露出警告一覧表〕	33	主要性能	70
★セルフタイマー撮影	35	ストラップの取り付け方	79
		アフターサービスについて	79

# I 準備編

## 保証書について

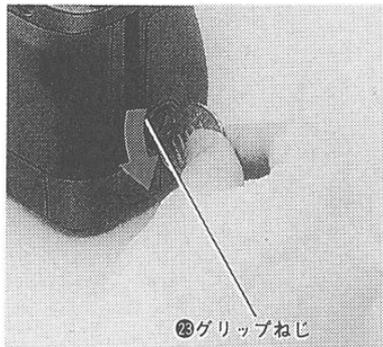
同封されている「ご愛用者カード」をお送りください。キャノンEOSご愛用者として登録させていただくと同時に、本製品の「国際保証書」をお送りいたします。もしご愛用者カードをお手元に置かれますと、万一故障した際、保証期間内の無料修理を受けることができませんのでご注意ください。

「ご愛用者カード」は必要事項をご記入のうえ、ご投函またはご購入店にお渡しください。尚お送りくださる際、販売店名印がない場合は、お手数ながら手書きにて店名、住所（または所在地名）、電話番号をご記入のうえお送りください。

# 1. 撮影の準備

## 1) 電池を入れます。

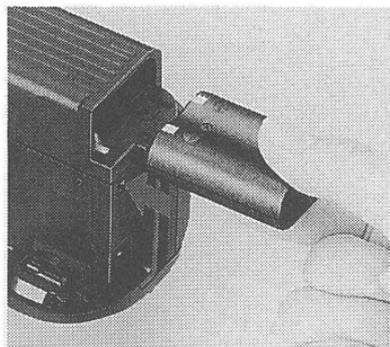
EOSはリチウム電池パック (2CR5, 6V) 1個で作動します。



1 コインなどを利用して、グリップねじ③を緩めます。

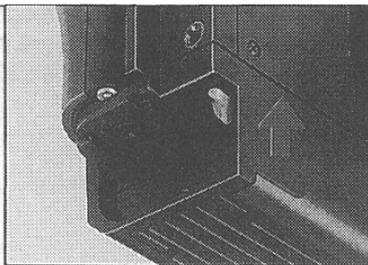


2 グリップ④を矢印方向に回すようにして外します。

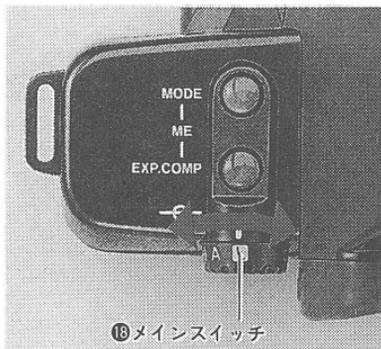


3 写真のように、(+) (-) 接点をカメラの方に向けて電池を入れます。オレンジ色のレバーで電池がロックされるまで十分に押し込み、グリップを確実に取り付けます。グリップねじは確実に締めてください。

•電池を交換するときは、オレンジ色のレバーを上押しして使用済み電池を取り出してください。また、三脚をお使いのときは、カメラを三脚から外して電池交換をしてください。

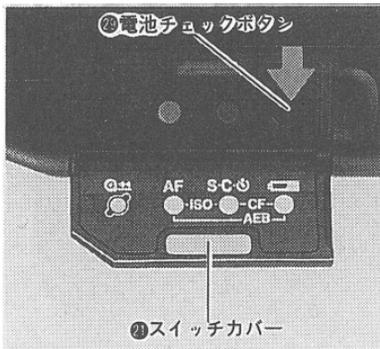


## 2) 電池をチェックします。



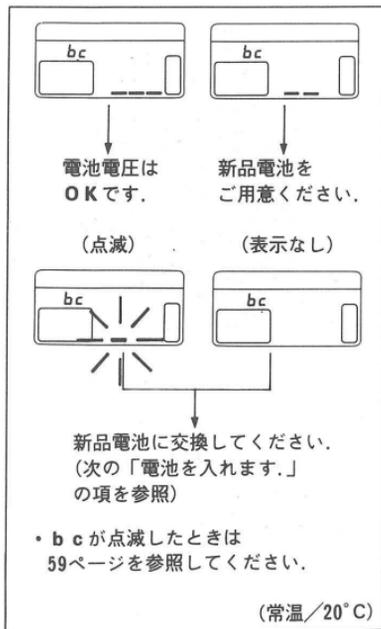
**1** メインスイッチ⑱を回してA位置に合わせます。このとき表示パネルに表示が現れます。(もし表示が出ないときは電池の向きをチェックしてください。)

- カメラを使用しないときは、不用意な電池消費を防ぐため、必ずメインスイッチを“L”にしてください。

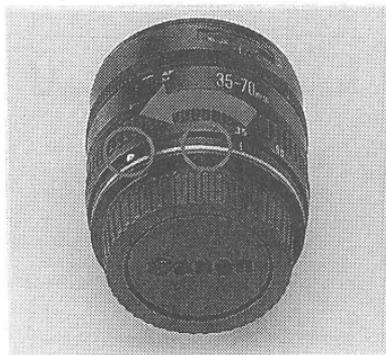


**2** 裏蓋の下にあるスイッチカバー⑳を開きます。電池チェックボタン⑲(  ) を押し、表示パネルの電池チェックマークで電池電圧を確認します。

- 撮影前は必ず電池をチェックしてください。
- ご旅行におでかけのときや、たくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。



### 3) レンズを取り付けます。



**1** レンズの底ぶたを矢印方向に回して外します。

- 取り付けるときは、レンズの赤い点と底ぶたの●印を合わせて逆方向に回します。



**2** ボディキャップを矢印方向に回して外します。

- 取り付けるときは、カメラの赤い点とキャップの●印を合わせて逆方向に回します。



**3** レンズとカメラ両方の赤い点を合わせ、レンズをはめ込みます。



⑪ レンズ取り外しボタン

**4** レンズを矢印の方向にカチッと音がするまで回します。

- レンズを取り外すときは、レンズ取り外しボタン⑪を押しながら逆方向に回します。



**5** レンズキャップを外します。



**6** フォーカスモードスイッチ⑨をAFにセットします。

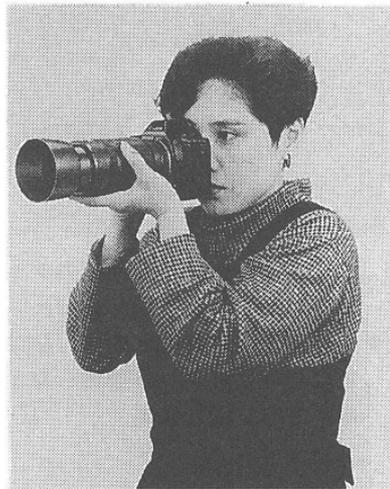
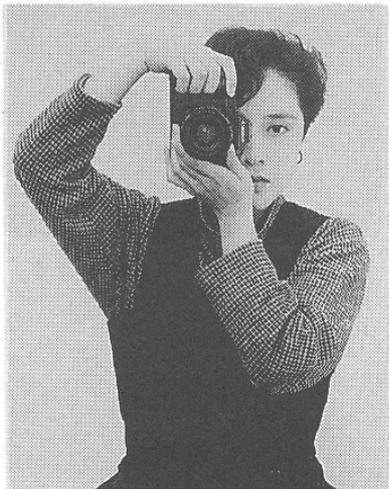


- レンズとカメラ本体○印(左写真)の電子接点に汚れ、傷、指紋などが付くと接触不良や腐食の原因となることがありますのでご注意ください。
- レンズを外したときは、電子接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置いてください。

#### 4) カメラの構え方を身につけます。

撮影のときカメラが動くことを「手振れ」と呼びます。手振れ写真はいわゆるピンボケとは違い、全体がボケた写真となり、シャープに写っているところがありません。

シャープな写真を撮るために、カメラが動かないように構えてください。



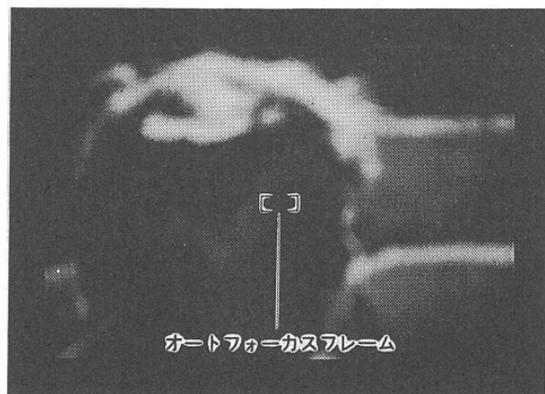
- 1 カメラを持つ手のひじを軽く体に付けます。
- 2 カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。
- 3 両足をそろえずに、片足を軽く踏み出して体を安定させます。

・構え方に決まった方法はありません。ご自分に合った方法で行ってください。構え方の練習は鏡の前で行うと効果的です。  
なお、実際に撮影するときは、建物・椅子・テーブル等を支えとするのもひとつの方法です。

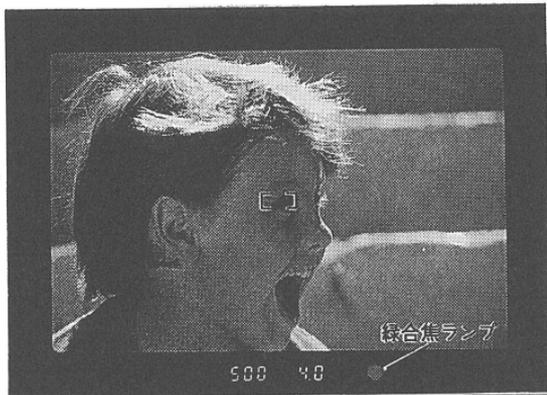
## 5) オートフォーカスでピントを合わせます。

EOSのシャッターボタン③は二段押しになっています。軽く押すとピントが合い、露出が決まります。この操作を「半押し」といいます。半押しには慣れることが必要です。練習をしてください。半押し状態からさらに深く押すとシャッターが切れます。このとき、手振れを防ぐために右手全体でグリップを握るような感じでゆっくりとシャッターボタンを押してください。

- 指がシャッターボタンから離れている状態から一気にシャッターボタンを押すと手振れになります。ご注意ください。



- 1 シャッターボタンに指の腹を置き、ファインダーをのぞいてオートフォーカスフレームを撮りたいものに合わせます。



**2** シャッターボタンを半押しして撮りたいものにピントを合わせます。ピントが合うとファインダー内右下の緑合焦ランプが点灯します。

• 緑合焦ランプが点滅するときは、14ページをご参照ください。

**3** 半押し状態からさらに深く押し込んでシャッターを切ります。ここまでの操作を何回か繰り返し練習しましょう。

## 人にやさしいEOS

### お知らせ電子音

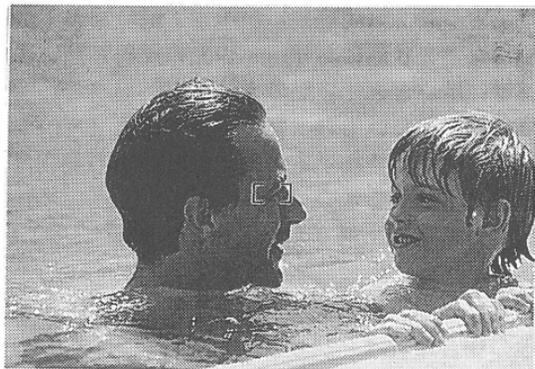
メインスイッチが (M) にセットされているとき、EOSは二通りの電子音で次のことをお知らせします。

- 1) ピピッ! (短い電子音) : ピントが合いました。そのまま撮影してください。
- 2) ピピピピピッ! (断続電子音) : 手振れに注意して撮影してください。(詳細は64ページをご参照ください)。構え方とシャッターボタンの押し方に注意して撮影してください。

★撮りたいものが画面の中央にないときのピント合わせ：〔フォーカスロック撮影〕

撮りたいものが画面の中央にないときは、以下の手順でピントを合わせてください。（例：二人の並んだ人物を撮影するとき）

1 オートフォーカスフレームをどちらかの人物に合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。



2 シャッターボタンを半押ししたまま撮りたい構図にもどして、そのままシャッターボタンを押して撮影します。このようにピントを固定し、構図を変えて撮影する方法をフォーカスロック撮影といいます。



## ★オートフォーカスができないとき：〔手動ピント合わせ〕

次のようなものにはピントが合わないことがあります。その場合、ファインダー内の緑合焦ランプが点滅します。

コントラスト（明暗差）が極端に低いもの：白い壁や皿など . . . . . (A)

極端な逆光状態にあり、かつ光の反射が強いもの：炎天下の車のボディなど

非常に暗いとき：夜間の人物など . . . . . (B)

横の線しかないもの：ブラインドなど . . . . . (C)

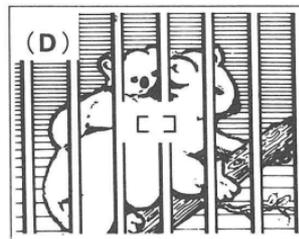
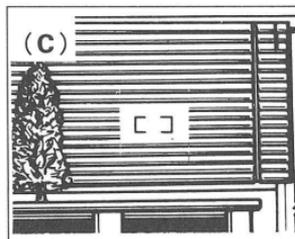
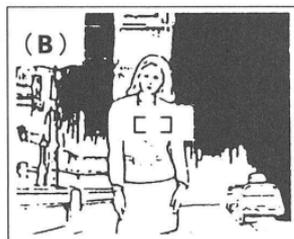
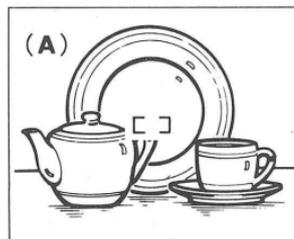
遠くと近くに共存するもの：おりの中の動物など . . . . . (D)

高速で移動するもの

(A) の場合：撮りたいものと同ほぼ同じ距離にあるものでフォーカスロックをした後、構図をもとにもどして撮影してください。

(C) の場合：カメラを縦に構えてピントを合わせた後、構図をもとにもどしてしてください。

他の場合は次ページの手順で手動ピント合わせを行ってください。

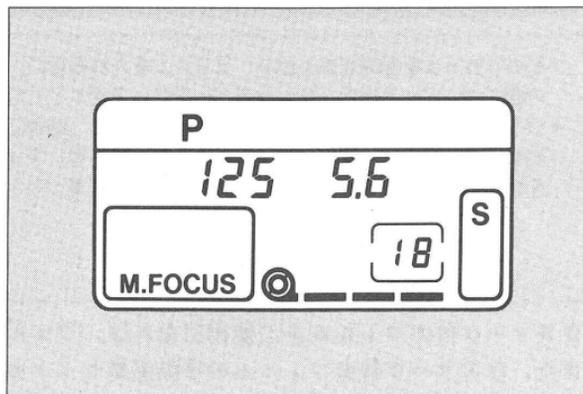


## [手動ピント合わせ]



**1** レンズのフォーカスモードスイッチ⑨をM（マニュアル：手動）にセットします。

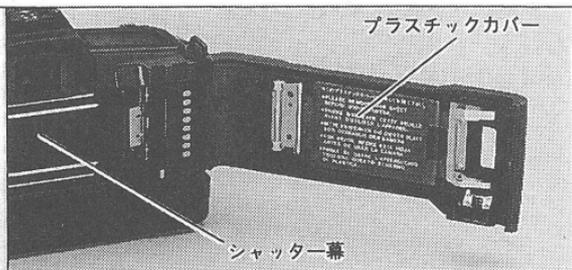
- このとき表示パネルのAFモード表示も、M.FOCUS（手動ピント合わせ）に切り換わります。



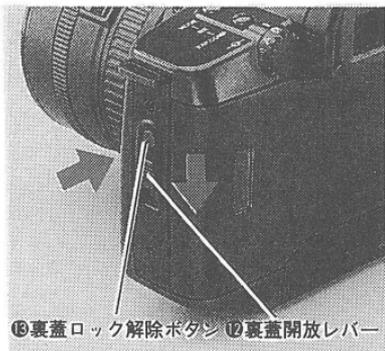
**2** レンズの手動フォーカスリング⑩を回して、ピントを合わせます。ぼけがなくなり、撮りたいものがはっきり見えればピントの合った状態です。

## 6) フィルムを入れます。

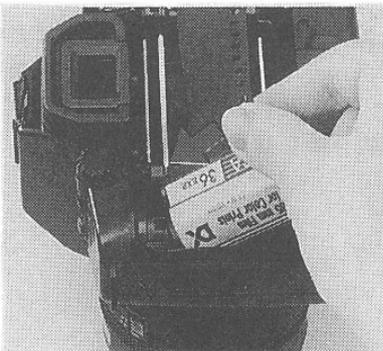
- 初めてカメラを使用するときは、フィルムを入れる前に、裏蓋の内側についているプラスチックカバーを外して捨ててください。
- シャッター幕は非常に高い精度を必要とするため、絶対に手で触れないでください。また、フィルムを入れる際にも、フィルムの引き出し部分がシャッター幕に触れないようご注意ください。



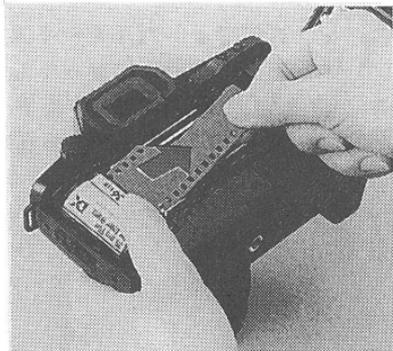
DXマーク付きフィルムをご使用になれば、フィルム感度は自動的にセットされます。また、DXマーク付きフィルムの手動感度セットも可能です。(50ページ参照)



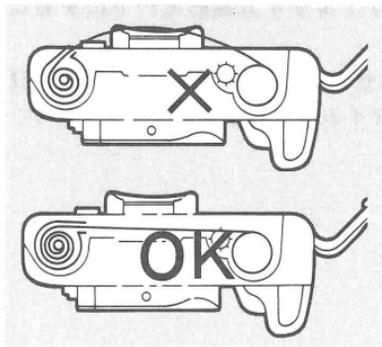
1 裏蓋ロック解除ボタン⑬を押し、そのまま裏蓋解放レバー⑭を押し下げると裏蓋が開きます。



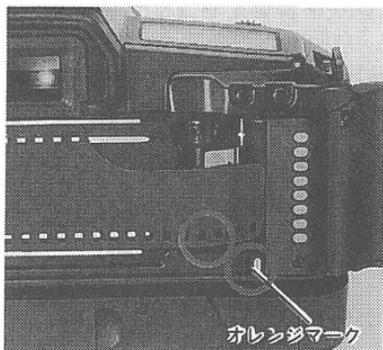
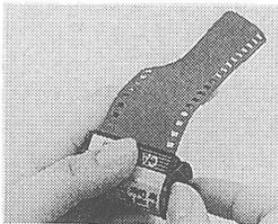
2 写真のように、フィルムは先端を斜めにして入れます。表示パネルにフィルム確認マーク(◎)が出ます。



3 カメラを倒さないように、左手でカメラとパトローネ(フィルムの容器)を押さえながら右手でフィルムを引き出します。

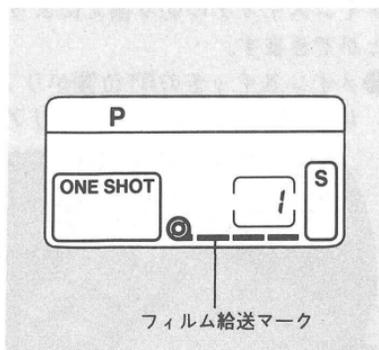


- 4** フィルムがたるまないようにして、フィルムの先端をオレンジマークに合わせます。  
 フィルムを引き出し過ぎたときはパトローネ（フィルムの容器）に少し巻き戻し、オレンジマークの位置に合うように長さを調節してください。



- 5** フィルムの先端がオレンジマークに合っていることと、フィルムの穴がカメラの歯車に合っていることを確認し、裏蓋を閉じます。

- 湿度の高い場所では、フィルムはカメラに入れる直前にパッケージから取り出してください。高湿度下に放置したフィルムを入れると、フィルム切れなどを起こすことがあります。

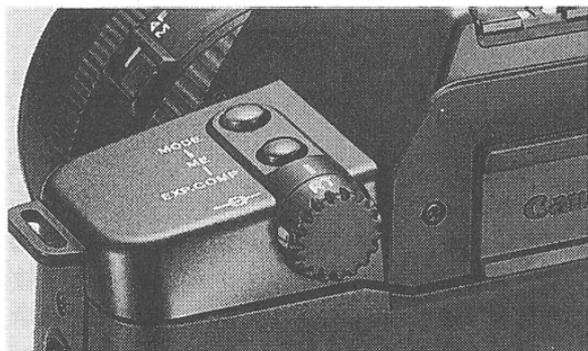


- 6** 裏蓋を閉じると、EOSが自動的にフィルムを巻き上げ1枚目をセットします。このとき表示パネルに“1”とフィルム給送マークが出ます。
- フィルムが正しく送られていない場合は、フィルム給送マーク全体が点滅し、シャッターが切れません。フィルムを正しく入れなおしてください。

## 2. リアルタイム撮影の準備

メインスイッチの切り換えによって、レリーズタイムラグを標準状態からリアルタイム撮影モードにすることができます。

- メインスイッチのRT位置がリアルタイム撮影モードです。必要に応じてセットしてください。(Aおよび(∞)位置は標準状態です。)リアルタイム撮影モードにすると、レリーズタイムラグは0.008秒となります。



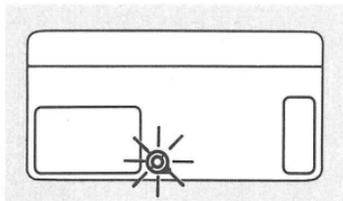
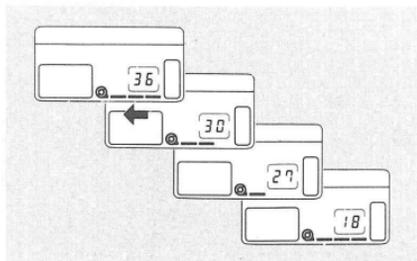
1 メインスイッチをRTの位置にセットします。

2 シャッターボタンを軽く押した状態から更に押し込むとリアルタイム撮影が行われます。

- シャッターボタンを軽く押すとシャッターが切れたような音がします。これは遮光用シャッターを解除する音ですので、ご注意ください。
- シャッターボタンを軽く押した状態からフィルムに光が当たるまでの時間がレリーズタイムラグで、その時間は0.008秒です。従ってシャッターボタンを一気に押し込むと、リアルタイム撮影になりません。

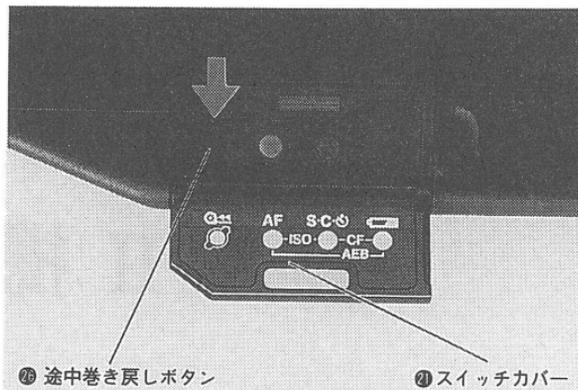
### 3. フィルムの自動巻き戻しについて

EOSは撮影が終ると、自動的にフィルムを巻き戻します。早目に取り出して現像に出しましょう。自動巻き戻し中は表示パネル中のフィルム給送マークが右から左へ動いて巻き戻し中であることを表示します。またフィルム枚数計も逆算します。



巻き戻しは完了すると自動的に止まり、表示パネルのフィルム確認マーク(☉)が点滅します。裏蓋を開けフィルムを取り出してください。

#### 〔フィルムの途中巻き戻し〕

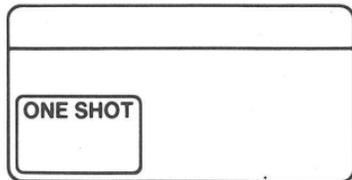


- フィルムを撮り終えるまえに現像に出したい方は、メインスイッチをL以外の位置に合わせ、裏蓋のスイッチカバー②①を開けて途中巻き戻しボタン②⑥を押してください。

## II 撮影編

## 1) AF (Auto Focus:オートフォーカス) モードのセッ

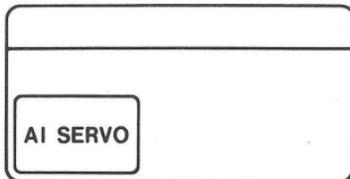
EOSには二種類のAFモードがあります。被写体(=撮りたいもの)の状況に合わせてお選びください。



### ● ONE SHOT (ワンショット)

撮影距離が変わらない被写体を撮るときにセッティングしてください。ピントが合うまでシャッターが切れませんので、ピンボケ写真を防ぐことができます。露出はピントが合ったときに決まります。また、一度ピントを合わせた後、シャッターボタンを半押しし続けられればピントと露出を固定したフォーカスロック撮影ができます。

\*リアルタイム撮影時はONE SHOT AFとなります。



### ● AI SERVO (エーアイサーボ)

撮影距離がたえず変わる被写体を撮るときにセッティングしてください。シャッターボタンを半押しし続けると、動いている被写体にピントを合わせ続けます。従ってフォーカスロック撮影はできません。また、動体予測機能\*により、EOSに向って近付いて来る被写体、あるいは遠ざかる被写体にもピントを合わせ続けることができます。露出はシャッターが切れる直前に決まります。緑合焦ランプは点灯しません。また、電子音は鳴りません。

#### \*動体予測機能

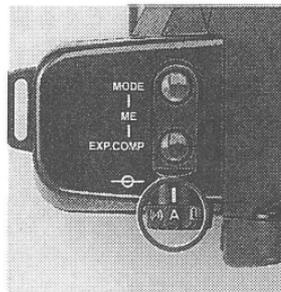
被写体がEOSに近付いてくる場合、または遠ざかる場合、シャッターが切れる直前の被写体の位置をEOSが予測してピントを調整します。

## 人にやさしいEOS

### 電子ダイヤル

電子ダイヤルには、他のボタンとの組み合わせでテレビのチャンネルのようにEOSの様々な機能を切り換える働きと、数字を大きくしたり小さくする二つの働きがあります。希望する機能や数字に簡単に切り換えることができます。

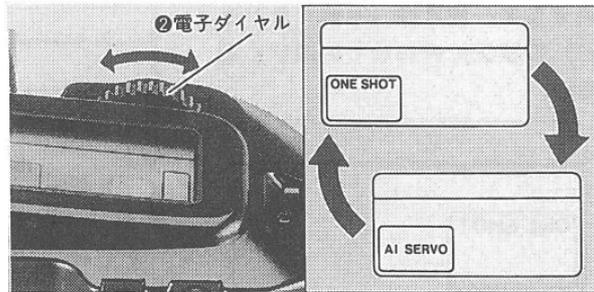
次の手順でAFモードをセットしてください。



1 メインスイッチ⑮をAまたは(M)に合わせます。



2 カメラの裏蓋の下のスイッチカバー⑲を開き、AFモード選択ボタン⑳(黄色)を押します。



3 電子ダイヤル⑳を回し、ONE SHOT、AI SERVOのいずれかをセットします。

・電子音を解除したい方はメインスイッチをAに合わせてください。

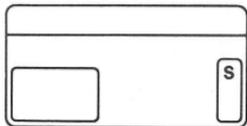
## 人にやさしいEOS

### 6秒タイマー機能①

スイッチカバー内の三つのボタンには6秒タイマー機能が備わっています。一度ボタンを押した後、指を離してください。6秒以内ならば電子ダイヤルを回すだけの簡単な操作でそれぞれのモードを切り換えることができます。

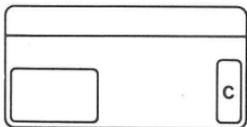
## 2) フィルム巻き上げモードのセット

EOSには二種類のフィルム巻き上げモードがあります。一枚撮りか連続撮影かをお選びください。



### ● S (SINGLE, 一枚撮り) :

シャッターが切れた後、自動的にフィルムを一枚巻き上げて次の撮影に備えます。

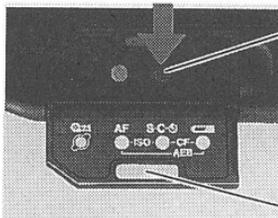


### ● C (CONTINUOUS, 連続撮影) :

シャッターボタンを押したままにすると連続撮影となります。巻き上げの速さは1秒間に最高約5枚です。(前述のA Iサーボモードと組み合わせた場合は1秒間に最高約3枚です)。

・クォーツデートバックEの写し込み機能を使用したときは、巻き上げのスピードが遅くなります。

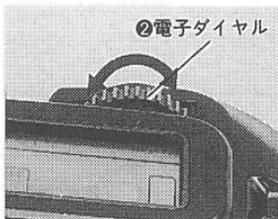
次の手順でフィルム巻き上げモードをセットしてください。



⑳ フィルム巻き上げモード  
選択ボタン

㉑ スイッチカバー

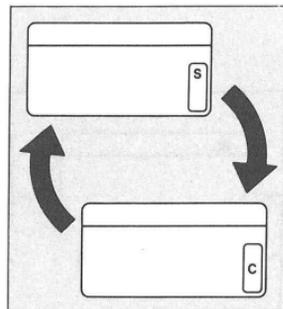
1 カメラの裏蓋の下のスイッチカバー⑳を開き、フィルム巻き上げモード選択ボタン㉑(青)を押します。



㉒ 電子ダイヤル

2 電子ダイヤル㉒を回し、SまたはCをセットします。

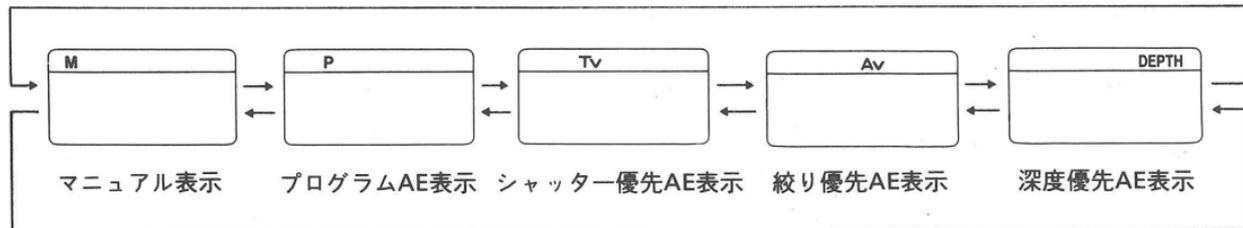
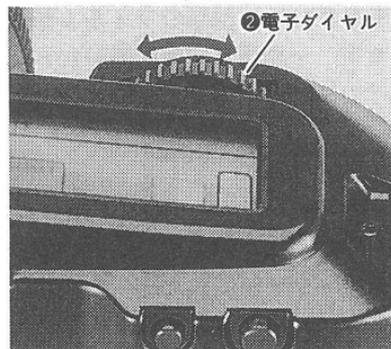
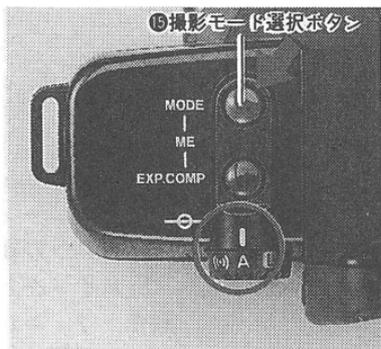
●  はセルフタイマーです。(詳細は35ページをご参照ください。)



### 3) 撮影モードのセット

メインスイッチがAまたは(●)にセットされていることを確認した後、撮影モード選択ボタン⑮を押しながら電子ダイヤル②を回します。

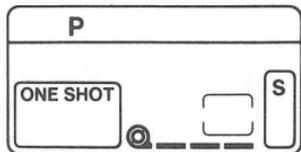
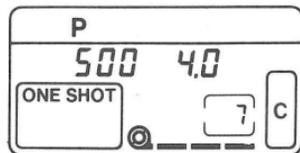
下図のように表示が循環します。希望するモードをセットしてください。



## ①インテリジェントプログラムAE

EOSはご使用のレンズの焦点距離に応じて最適なシャッタースピードと絞り数字を選びます。シャッタースピードが1/使用レンズの焦点距離・秒（一般的な手持ち撮影の限界）以下になったときには手振れ警告の電子音を鳴らします。

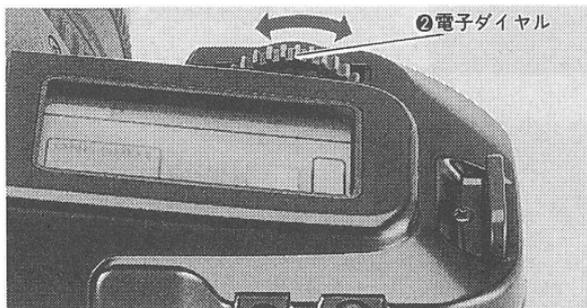
これをインテリジェントプログラムAEモードと呼びます。



- 露出表示（シャッタースピード・絞り数字）が点滅したときは、33ページの〔露出警告一覧表〕をご参照ください。

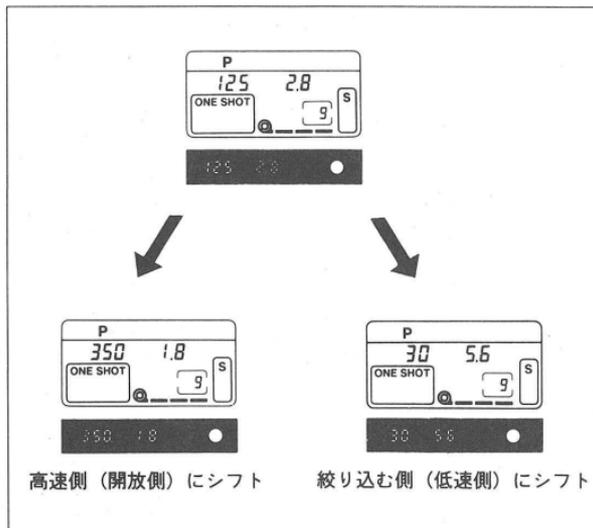
## 〔プログラムシフト〕

プログラムAEによって自動的にセットされたシャッター速度と絞り数字の組み合わせ（プログラム）は、同じ露出のままで自由に変えることができます。これをプログラムシフトと呼びます。



希望するシャッター速度または絞り数字が出るまで電子ダイヤル②を回します。

- 撮影後プログラムシフトは自動的に解除され、元のプログラムに戻ります。
- フラッシュ撮影時はプログラムシフトはできません。
- プログラムシフト特性に関しては、65ページを参照してください。



## 人にやさしいEOS

### 6秒タイマー機能

シャッターボタンを半押ししたあとで指を離しても、露出表示は約6秒間表示パネル上とファインダー内に残ります。ご確認ください。

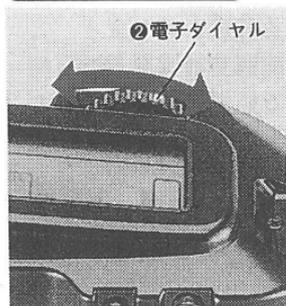
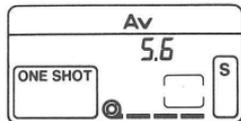


### ③絞り優先AE

さまざまな絞りの効果を自由にセットして、被写界深度を浅くしたり深くすることができます。例えば絞りを開放にして（絞り数字を小さくして）背景をぼかした美しいポートレートを撮ることができます。その際、開放絞り数字の小さいレンズをご使用いただくとより効果的です。また、逆に絞り込んで奥行きのある風景などをすみからすみまではっきり写したいときは、絞り数字を大きくしてください。絞り数字をセットすると、適正露出のためのシャッター速度を撮りたいものの明るさに応じてEOSが自動セットします。



EF600mmF4L

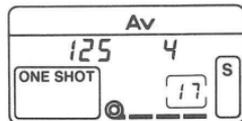


**1** 手順に従って絞り優先先AEモードをセットします。

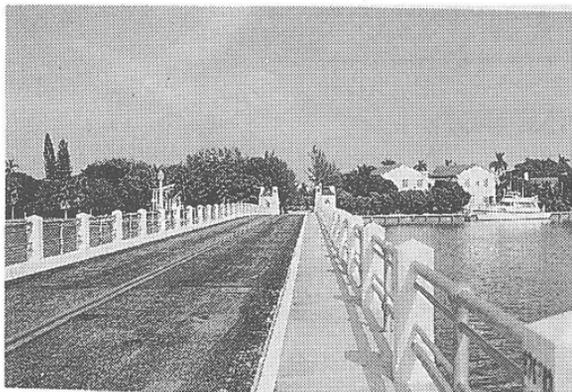
**2** 最初に、5.6 (F5.6) が表示されます。

電子ダイヤル②を回して希望する絞り数字をセットしてください。

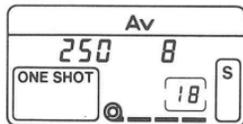
数字が小さくなるほど絞り径は開き、大きくなるほど閉じられます。



## 〔深度の確認〕



EF50mmF1.8



- 露出表示（シャッタースピード）が点滅したときは、33ページの〔露出警告一覧表〕をご参照ください。



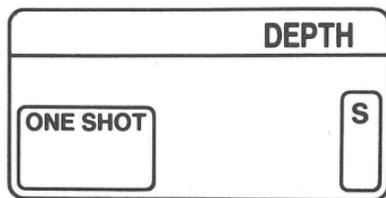
⑧被写界深度確認ボタン

被写界深度確認ボタン⑧を押すと、カメラが自動的にセットした絞り数字または電子ダイヤル②で手動セットした絞り数字まで絞り込まれます。このままの状態で見finderをのぞいたときに、はっきり見える範囲がその絞りでの被写界深度です。

#### ④深度優先A E

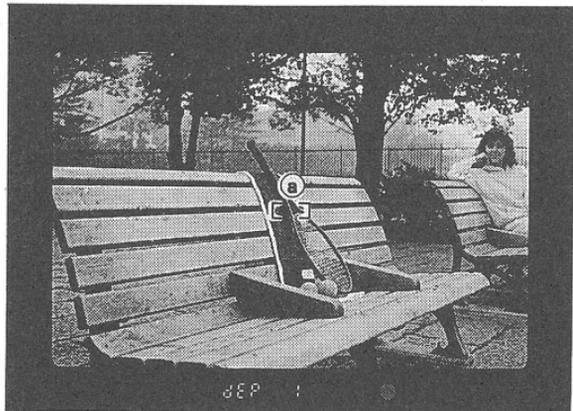
はっきり写したい範囲を決めると、EOSがそのための被写界深度を自動セットします。風景写真や多人数での記念写真、背景に記念になるようなものを入れて写したいときに便利です。

決められた範囲を深度内に入れるために必要な絞り数字と、シャッタースピードをEOSが自動セットします。

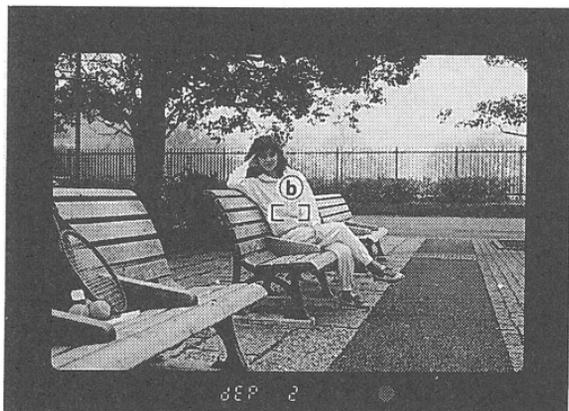


- 1 24ページの手順に従って深度優先A Eモードをセットします。

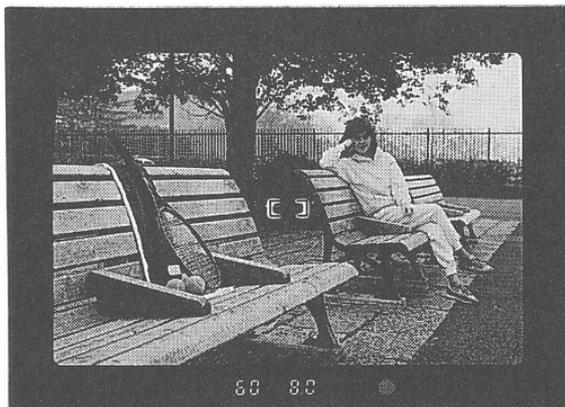
- ストロボは併用できません。
- 深度優先A Eモードを操作途中で解除するとき、撮影モード選択ボタンを押してください。
- ズームレンズ使用時は、1点目のピント合わせをした後に焦点距離を変えないでください。
- 1点目、2点目とも同じ距離のものにピント合わせを行なうと、被写界深度は浅くなります。例えば人物でこれを行えば、人物の前景および背景をぼかしたポートレート撮影が可能です。この場合は望遠レンズのご使用をおすすめします。
- 被写界深度を深くとりたいたときは、広角レンズのご使用をおすすめします。また、望遠レンズを使用する場合は焦点距離は200mmが限度とお考えください。
- 深度優先A Eモードでは、AFモードがワンショットでも露出はシャッターを切る瞬間に決まりません。(21ページ参照)



- 2 オートフォーカスフレームを1点目①に合わせ、シャッターボタンを半押しします。  
ファインダー内の緑合焦ランプが点灯したら、シャッターボタンから指を離します。



- 3 続いて2点目②で2と同じ操作を行います。

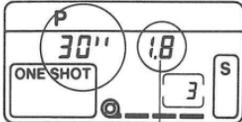
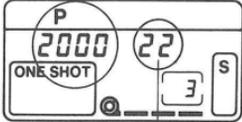
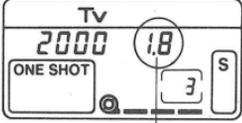
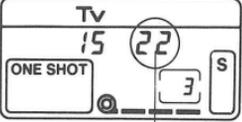


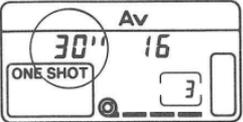
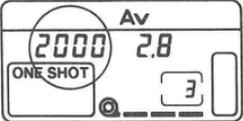
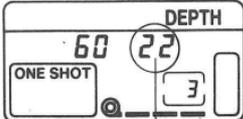
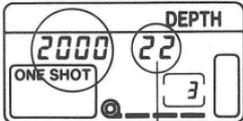
**4** 構図を決め、シャッターボタンをさらに深く押し  
して撮影します。

このとき、**a**から**b**つまり前方から後方までを深度内に入れるために必要な絞り数字とそれに対応したシャッタースピードがファインダー内で確認できます。

- 操作は**⑤**(後方), **④**(前方)の順で行っても結果は同じです。
- 一度シャッターを切った後でもシャッターボタンを半押ししたままであれば繰り返し深度優先AE撮影ができます。あらかじめフィルム巻き上げモードをC(連続撮影モード)にセットしてください。
- 露出表示(シャッタースピード・絞り数字)が点滅したときは、次ページの〔露出警告一覧表〕をご参照ください。

# 〔露出警告一覧表〕

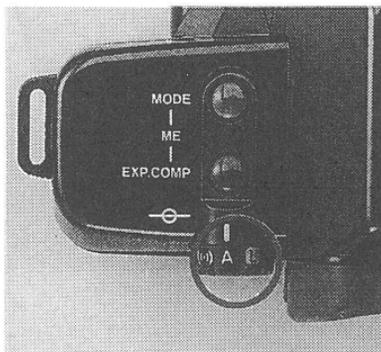
使用モード	パネル表示警告例 (点滅)	原因	処 置
プログラムAEモード	 <p>使用レンズの開放絞り数字</p>	撮りたいものが暗すぎます。	ストロボを使用してください。
	 <p>使用レンズの最小絞り数字</p>	撮りたいものが明るすぎます。	減光用のNDフィルターを使用してください。
シャッター優先AEモード	 <p>使用レンズの開放絞り数字</p>	露出アンダーになります。	電子ダイヤルを回してシャッタースピードを遅くしてください。
	 <p>使用レンズの最小絞り数字</p>	露出オーバーになります。	電子ダイヤルを回してシャッタースピードを速くしてください。

使用モード	パネル表示警告例 (点滅)	原因	処置
絞り優先AEモード		露出アンダーになります。	電子ダイヤルを回して絞りを開いてください。
		露出オーバーになります。	電子ダイヤルを回して絞りを閉じてください。
深度優先AEモード	 <p>使用レンズの最小絞り数字</p>	お望みの被写界深度が得られません。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 撮りたいものからできるだけ離れて再度操作を行なってください。</li> <li>2) ズームレンズをご使用の場合は、広角側にセットして再度操作を行ってください。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点滅したままの状態でも撮影しても露出は適正になります。</li> </ul>
	 <p>使用レンズの最小絞り数字</p>	撮りたいものが明るすぎます。	減光用のNDフィルターを使用してください。

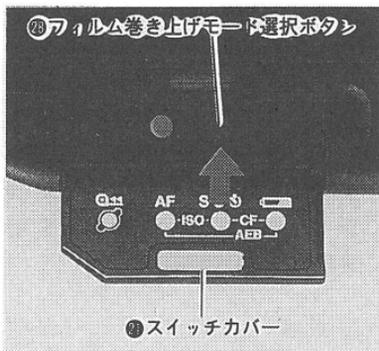
## ★セルフタイマー

ご自身の記念写真を撮るときは、セルフタイマーをご利用ください。

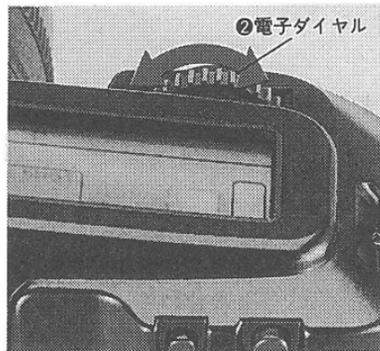
●三脚などを利用してカメラを固定してください。撮影は約10秒後に行われます。



1 メインスイッチ⑱をAまたは(Ⓜ)に合わせます。

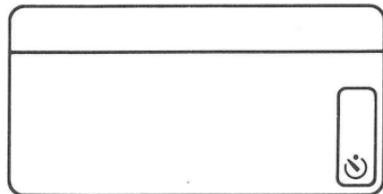


2 カメラの裏蓋の下のスイッチカバー⑲を開き、フィルム巻き上げモード選択ボタン⑳(青)を押します。

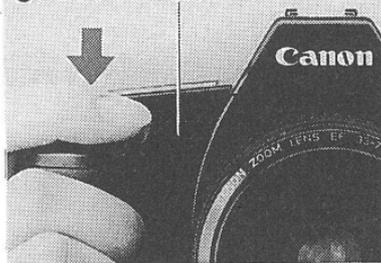


3 電子ダイヤル②を回し、セルフタイマーを表す(Ⓜ)をセットします。

- セルフタイマー撮影を中止したいときは、電池チェックボタン㉔を押してください。
- カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。

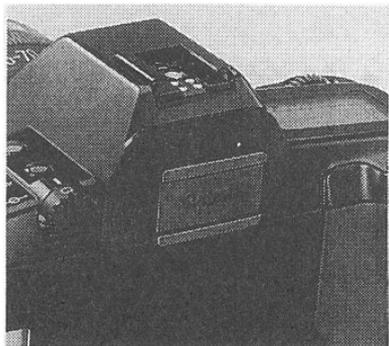
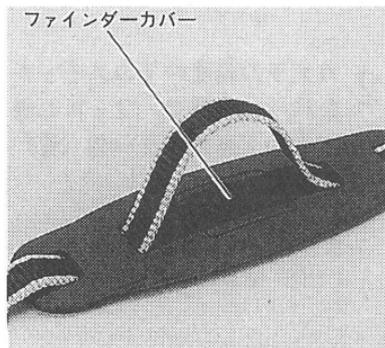
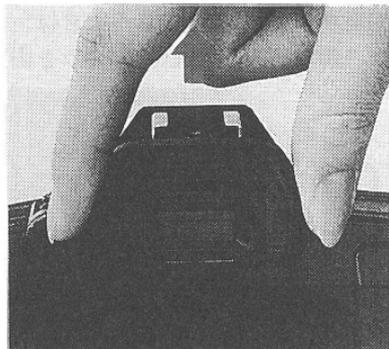


⑤セルフタイマー表示ランプ



**4** シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、そのままさらに深く押します。セルフタイマー表示ランプ⑤が点滅を始め、撮影は約10秒後に行われます。なお、撮影2秒前になると点滅が速くなります。また、表示パネル上に撮影までの残り時間が表示されて行きます。

- ファインダーから目を離してシャッターボタンを押すと、ファインダーから入った光によってフィルムにカブリが生じます。このようなときはアイカップを外し、ストラップ肩当てからファインダーカバーを外して図のように接眼部に取り付けてからシャッターボタンを押してください。



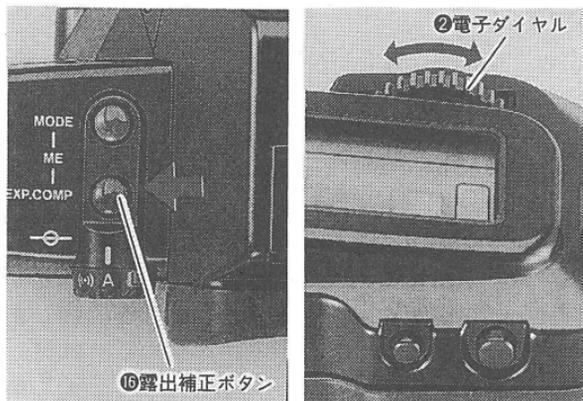


# Ⅲ 応用撮影編

# 1. 露出補正

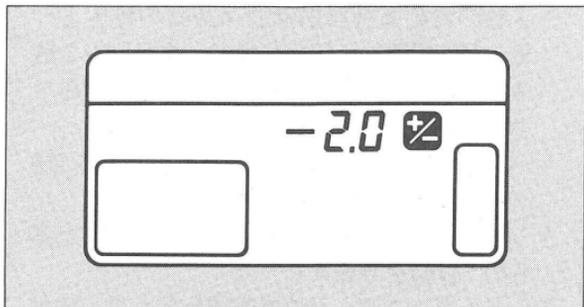
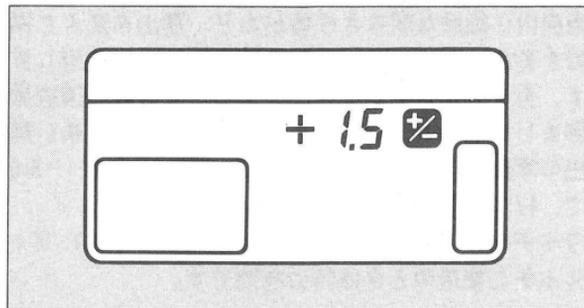
写真の画面全体を意識的に露出オーバー（ハイキー調）にしたり，露出アンダー（ローキー調）にするときなどに使用します。補正範囲は+5.0～-5.0段で1/2段ずつセットできます。

次の手順に従って希望する露出補正量をセットしてください。



1 露出補正ボタン⑯を押しながら電子ダイヤル②を回し，希望する補正量をセットします。

- +はオーバー側への補正，-はアンダー側への補正です。
- 露出補正は撮影モード，測光モードにかかわらず使用できます。



2 このとき表示パネルと，ファインダー内に  が表示され，露出補正状態にあることを示します。

- 補正量を決めにくいときは，前後に補正数値を変えて撮影してください。
- 撮影終了後，露出補正の必要がなくなったときは忘れずに補正量を“0.0”に戻してください。

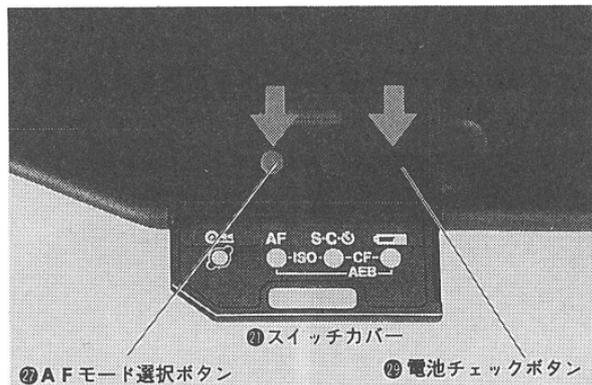
## 2. オートブラケティング＝自動露出ずらし機構

画面内に微妙な明るさの差があり、露出を変えて撮影する余裕のない動く被写体の撮影などに使用します。カメラが自動的に露出をずらして3枚の連続撮影をしますので、後からご自分の判断で最も良い露出の写真を選んでください。補正範囲は+5.0～-5.0で、1/2段ずつセットできます。

ラチユードのせまいリバーサル（スライド）フィルムをご使用のときは特に有効です。

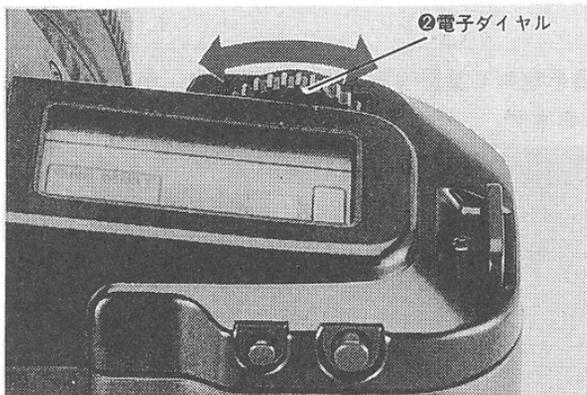
- 3枚の自動連続撮影はフィルムの巻き上げモードに関係なく行われます。またピントはAFモードに関係なく最初の撮影位置でロックされます。
- バルブ（48ページ参照）とフラッシュ撮影（52ページ参照）には併用できません。
- シャッタースピード・絞り数字ともに変わるもの：プログラムAE
- シャッタースピードのみが変わるもの：絞り優先AE、深度優先AE、マニュアル露出（46ページ参照）
- 絞り数字のみが変わるもの：シャッター優先AE
- マニュアル露出と併用するときは、先にマニュアル露出値をセットしてください。

次の手順に従って希望する露出ずらし量をセットしてください。



- 1 スイッチカバー①を開き、AFモード選択ボタン⑦と電池チェックボタン⑨を同時に押します。

- このとき表示パネルには“0.0”、“AEB”が表示されます。



②電子ダイヤル

2 電子ダイヤル②を回し、希望する露出のずらし量をセットします。

例えば1.5をセットすると、EOSは露出アンダー（-1.5段）、適正（±0段）、露出オーバー（+1.5段）の順で3枚自動的に連続撮影します。

• 撮影終了後オートブラケティングが必要なくなったときは、忘れずに1、2の手順に従ってパネル表示を“0.0”に戻してください。

## [撮影ヒント]

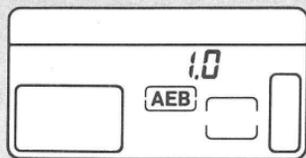
例えば露出オーバー側にのみ露出をずらしたいときは、露出補正機能を併用してください。

(39ページ参照)

1 オートブラケティングで露出のずらし量を1にセットします。

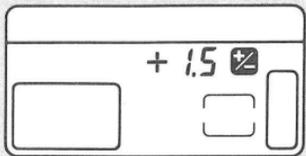
(-1.0, ±0, +1.0)

2 露出補正機能で補正量を+1.5にセットします。  
結果として露出のずらし量は+0.5, +1.5, +2.5となり、オーバー側にのみ露出をずらしたことになります。



オートブラケティング

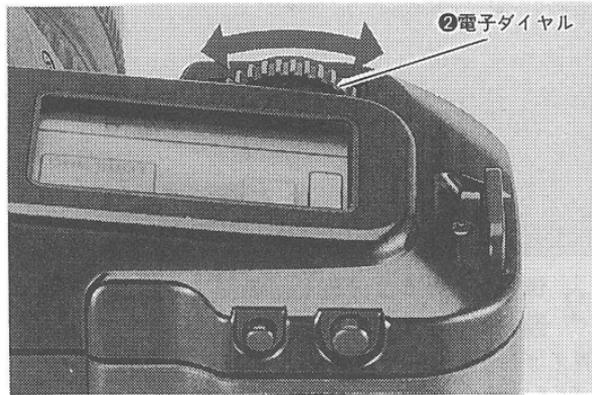
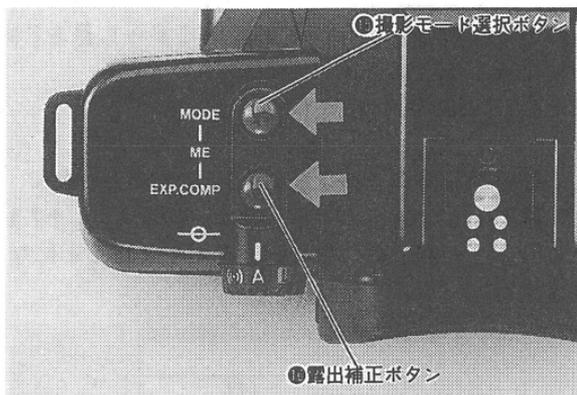
+



露出補正

### 3. 多重露出

多重露出を使用すれば、同一フィルム面上に何回でも画像を重ねて撮影することができます。多重露出回数は1度の電子ダイヤル操作で9回までセットすることができます。



1 撮影モード選択ボタン⑮と露出補正ボタン⑯を同時に押します。

- このとき表示パネルには**ME**が表示されます。撮影中は点滅します。

2 両方のボタンを押したまま電子ダイヤル②を回し多重露出回数（3回の多重露出なら3）をフィルム枚数計にセットします。

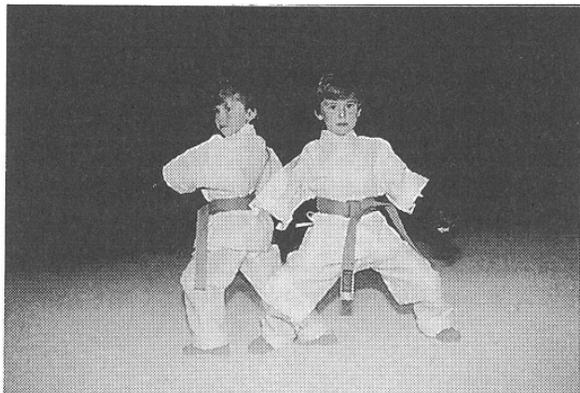
- 多重露出が終了するとフィルムは自動的に次のコマに巻き上げられ、多重露出は解除されます。
- 多重露出を撮影前に解除するときは、1、2の手順に従ってフィルム枚数計を1に戻してください。（撮影途中で解除するときはフィルム枚数計をブランクにします）。

## [撮影ヒント]

多重露出はフィルムの同一画面上に何度も露出を与えますので、露出値を最初に補正しておく必要があります。露出補正機能を併用してください。(39ページ参照)

多重露出の回数	補正量の目安
2回	-1.0
3回	-1.5
4回	-2.0

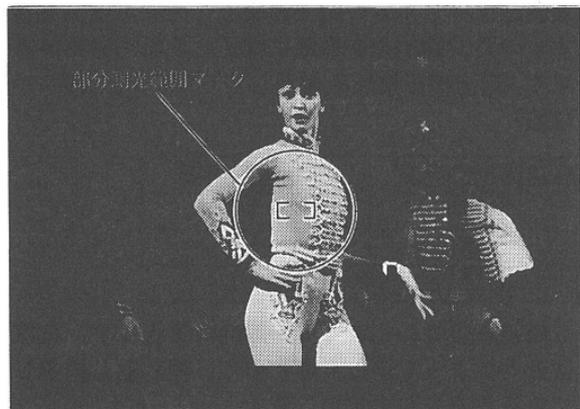
- この補正量はあくまでも一般的な目安です。実際は条件によって変わりますので、繰り返し練習してみることをおすすめします。



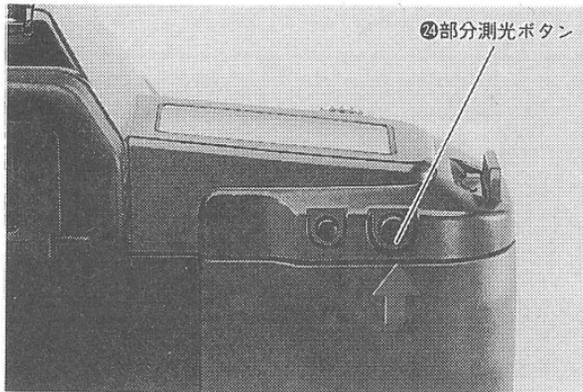
- 多重露出をしてもフィルムは動かないよう考慮されていますが、多重回数が増えた場合は、画面がわずかにずれることがあります。また、フィルムの最初と最後の数コマは巻きくせがありますので、避けた方が無難です。
- 一般に多重露出は背景が黒っぽいものから撮影し、黒の部分に次の被写体を重ねてゆきます。
- ネガフィルムで多重露出をした場合は、現像(同時プリント)時にその旨をお申し出いただかないとプリントされないことがあります。

## 4. 部分測光

EOSは撮りたいものと背景との明るさの差や、撮りたいものの大きさを考慮して適正露出を決定する評価測光方式を採用しています。逆光のときや晴れた日の雪原などでの撮影でもきれいな写真が撮れます。しかし、スポットライトで照明されたステージなど、被写体と背景とのコントラスト（明暗差）が極端に強いときは、部分測光をご使用ください。

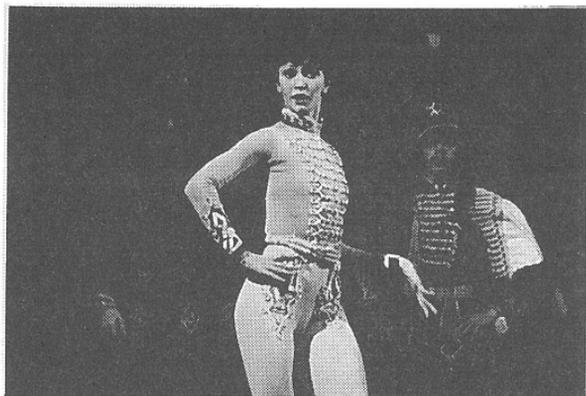


- 1 部分測光範囲マーク（ファインダー画面の約6.5%）を被写体の中で適正露出にしたい主要部分に合わせ、シャッターボタンを半押しします。



㊦部分測光ボタン

- 2** シャッターボタンを半押ししたまま、部分測光ボタン㊦を押します。ファインダー内に部分測光状態を示す \* マークが表示されます。 \* マークが表示されたならば、部分測光ボタンから指を離してもかまいません。露出はロックされています。
- マニュアル露出モードの場合は手動絞りセットボタン⑦を押しながら部分測光ボタンを押してください。



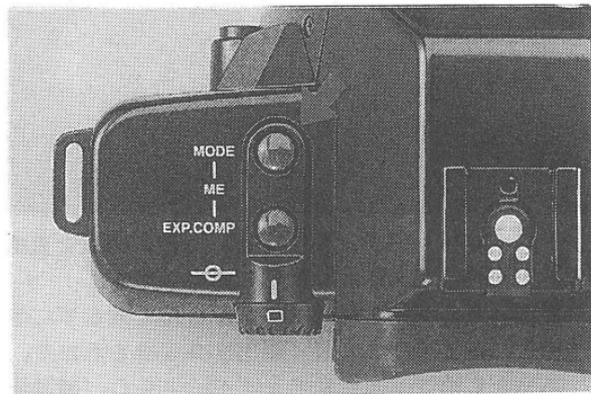
- 3** シャッターボタンを半押ししたまま構図を自由に決め、さらに深く押し撮影します。
- 撮影後も、シャッターボタンから指を離さずに半押ししたままでいれば、露出はロックされます。あらかじめフィルム巻き上げモードをC（連続撮影モード）にセットしておけば、同露出での連続撮影が可能です。（23ページ参照）。

- 意図的に被写体を黒くつぶしたシルエット撮影も可能です。例えば、夕焼けの中の人物をシルエットにするときは、最初に人物にフォーカスロックをした後、構図を変えて夕焼け空を部分測光します。その後、構図をもとに戻して撮影してください。



## 5. マニュアル露出

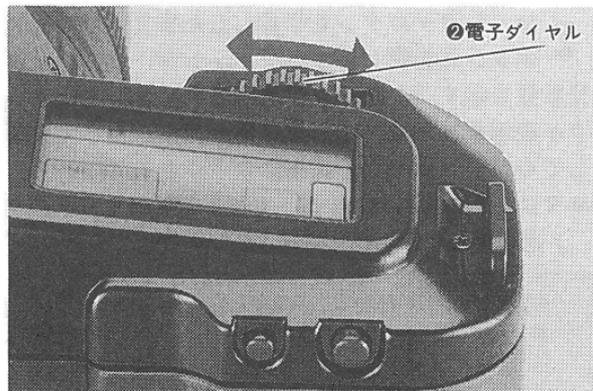
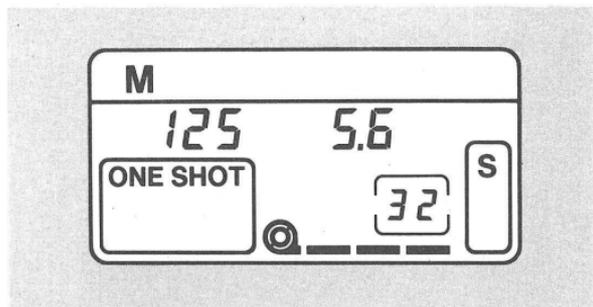
シャッター速度と絞り数字を自由に決めて撮影するためのモードです。単独の露出計を用いての撮影や、意識的に露出を変えて撮影するときに使います。



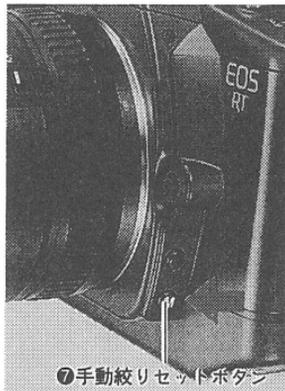
**1** 24ページの手順に従って、マニュアル露出モードをセットしてください。

シャッター速度は1/125秒、絞り数字はF5.6が最初に表示されます。

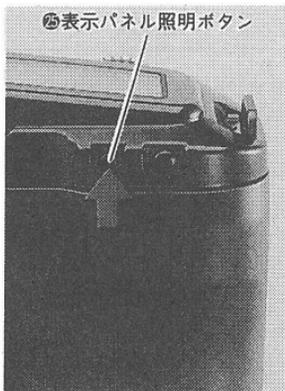
- メインスイッチが(●)にセットされていても手振れ警告の電子音は鳴りません。



**2** 電子ダイヤル②を回し、希望するシャッター速度をセットします。



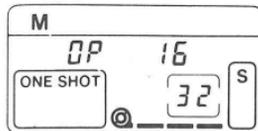
⑦手動絞りセットボタン



②表示パネル照明ボタン

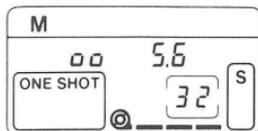
3 手動絞りセットボタン⑦または表示パネル照明ボタン②を押しながら電子ダイヤルを回し、希望する絞り数字をセットします。

●手動絞りセットボタンを押した場合、表示パネル上とファインダー内のシャッター速度表示は **DP**、**00**、**[L]** のいずれかに切り換わります。意味は次の通りです。



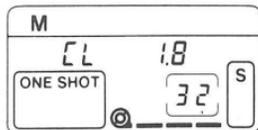
露出アンダーです。絞りを開いてください。(OPENの意味)

M DP 16



適正露出です。

M 00 5.6



露出オーバーです。絞りを閉じてください。(CLOSEの意味)

M [L] 1.8

- 絞りを開放まで開いても、まだ **DP** が表示されているときは、シャッタースピードを遅くしてください。逆に、最小絞り数字まで絞っても、まだ **[L]** が表示されているときは、シャッタースピードを速くしてください。

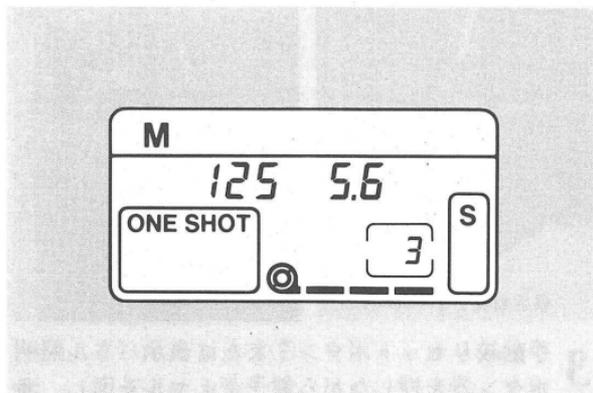
#### 注意

外部メーターで測った値をセットするときは、測光値に+ $\frac{1}{3}$ 段加えた値をカメラにセットしてください。

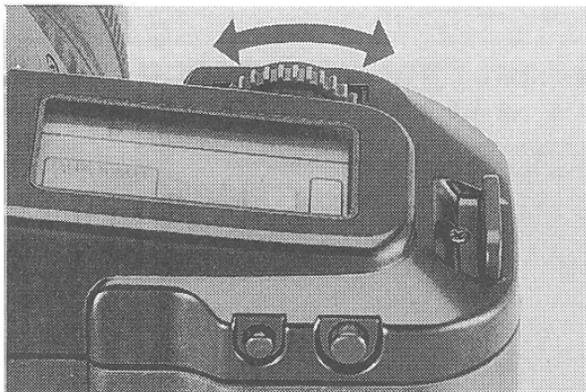
## 6. バルブ（長時間露出）撮影

シャッターボタンを押している間シャッターが開いたままになりますので、夜景や天体撮影など長時間の露出が必要なときにご使用ください。撮影中にわずかでもカメラが動いてしまうと写真は台なしです。三脚を使用するなどして、必ずカメラをしっかり固定してください。

- 別売りのリモートスイッチ60T3とリモートコントロール端子付きの交換グリップGR-20を併用すれば、シャッターボタンを押し続けなくてもシャッターが開いている状態にロックすることができます。
- メインスイッチが (M) にセットされていても、手振れ警告の電子音は鳴りません。
- バルブ撮影時は、ほとんど電池消耗のない省電設計です。



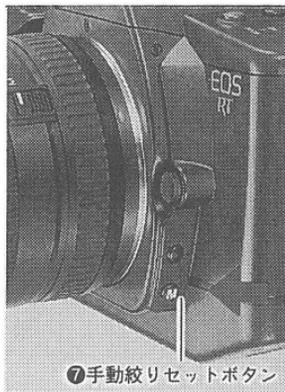
- 1 24ページの手順に従って撮影モードをM（マニュアル露出）にセットします。



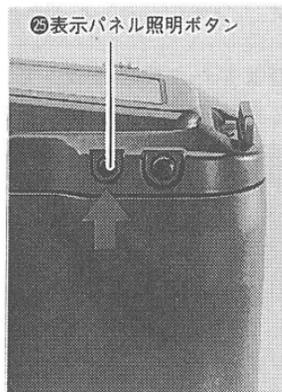
2 電子ダイヤル②を左に回して**bulb**(バルブ)をセットします。**30"**の次がバルブです。



シャッター2時間開放・絞り開放EF50-200mmF3.5-4.5



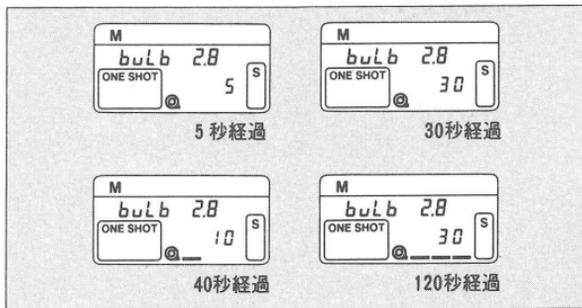
7 手動絞りセットボタン



25 表示パネル照明ボタン

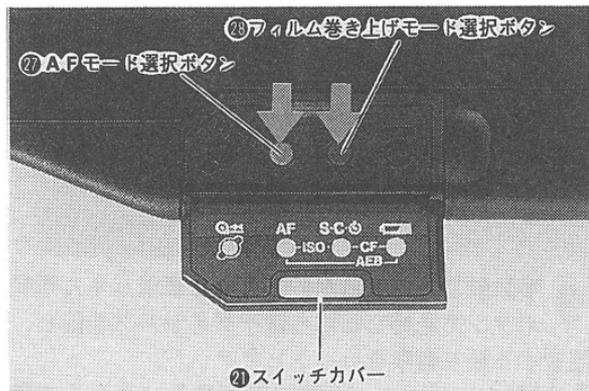
3 手動絞りセットボタン⑦または表示パネル照明ボタン②5を押しながら電子ダイヤル②を回し、希望する絞り数字をセットします。

●120秒まではバルブ作動時間が表示パネル上で確認できます。フィルム給送マーク1本が30秒を表します。

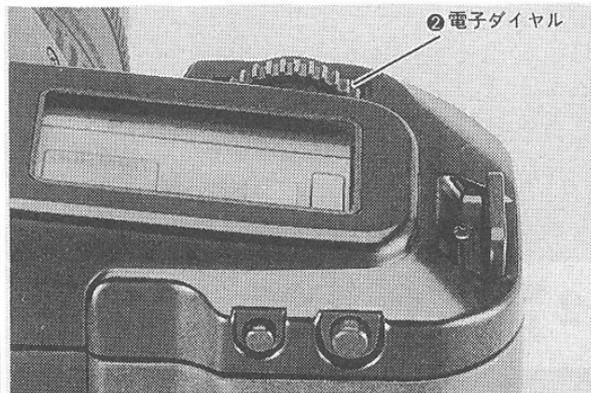


## 7. フィルム感度の手動セット

DXマークのないフィルムをご使用になると、ISO数値が点滅して警告します。次の手順に従って感度をご自分でセットしてください。セットできる範囲はISO 6～6400です。



- 1 スイッチカバー④を開き、黄と青のボタンの両方(②と③)を同時に押して、表示パネルに出します。



- 2 電子ダイヤル②を回して使用フィルムの感度をセットします。

• DXマーク付きのフィルムの手動感度セットも同じ手順で行うことができます。

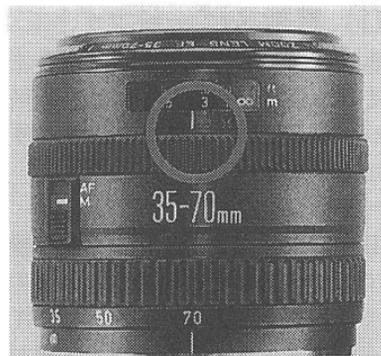
## 8. 白黒赤外フィルム撮影

赤外フィルム撮影では通常の撮影とピント位置が異なりますので次の手順に従って撮影してください。

- 赤外マークは、白黒赤外フィルムを使用するときのマークです。



- 1 AFでピントを合わせます。  
次にレンズのフォーカスモードスイッチをMに切り換えます。



- 2 ピント合わせの結果が3mならば、レンズの距離目盛りの3を赤外マーク位置にずらして撮影します。ズームレンズをご使用の際は、焦点距離に応じてマークをお選びください。

- 白黒赤外フィルム撮影のときは、赤フィルターを併用してください。
- レンズの赤外マークは800nmの波長を基準に目盛っております。
- 詳細は、フィルムの使用説明書に従ってください。

## 9. フラッシュ撮影

### (1) 専用スピードライトによる撮影

専用スピードライト**430EZ**または**300EZ**を**EOS**に取り付ければ、暗い場所だけでなく日中シンクロ\*まで、簡単な操作でフラッシュ撮影が可能となります。

\*日中シンクロ：

日中の屋外でフラッシュを使う撮影方法です。逆光で人物の顔などが暗くつぶれるのを避けるだけでなく、鮮やかなカラー発色と目にキャッチライトの入った生き生きとした表情の写真が得られます。日中シンクロは経験を必要とする高度な撮影テクニックとされていますが、スピードライト**430EZ**または**300EZ**をご使用になれば、すべて自動的にこなうことができます。

カメラをプログラム**AE**にセットしておけば、フラッシュの充電完了と同時に同調シャッター速度は1/60～1/125秒の範囲内で自動セットされます。さらに調光絞り数字も自動セットされます。

●詳しくはスピードライトの使用説明書をご覧ください。

### (2) その他のキヤノンスピードライト

以下のような手順で撮影してください。調光撮影となります。

- 1) カメラの撮影モードを“**M**”にセットします。
- 2) 同調シャッター速度を30秒～1/125秒の範囲でセットします。
  - ・1/125秒より速い同調速度をセットした場合は、自動的に1/125秒にセットされます。
- 3) ストロボに調光絞り数字をセットします。
- 4) ストロボの調光絞り数字と同じ絞り数字をカメラにセットします。
  - 300TL**使用時はストロボのモードセットボタンを**MHi**、**MLo**以外にセットして撮影してください。**TTL**調光が行われます。
  - 277T**、**299T**のプログラムモードは使用できません。**F.NO.** セットでお使いください。
  - 244T**は使用できません。

### (3) 汎用ストロボ

- ①汎用小型ストロボは1/125秒以下で同調可能.
- ②スタジオ用大型ストロボは1/60秒以下で同調可能.
- 汎用ストロボをご使用の場合は、ストロボの発光時間との関係で正しく同調するかどうかを、あらかじめ確認してください.

●このカメラにはキャノンの専用ストロボを使用されることをおすすめします。特に他社の特定のカメラ専用とされているストロボ（一般にホットシューに複数の接点を持つ）およびストロボ用付属品を使用すると、カメラが正常機能を発揮しないことや、故障の原因となることがありますのでご注意ください。

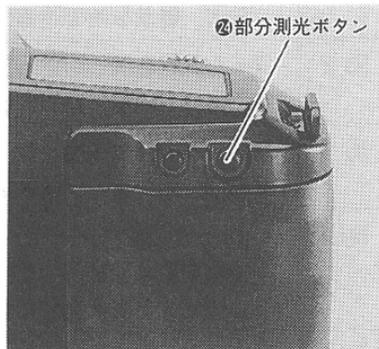
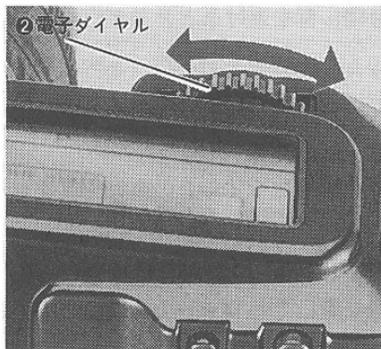
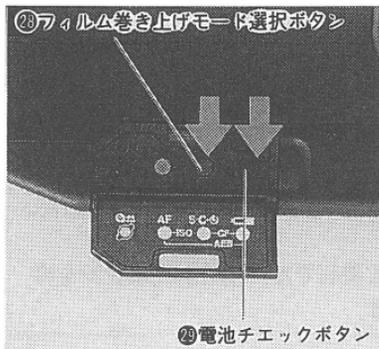
### ストロボ使用時の注意

- ①ストロボの連動距離範囲は、公称値より20%短くなります。（420EZ、430EZは補正後の距離がストロボに表示されます）
- ②ストロボのマニュアル発光時は+ $\frac{2}{3}$ 段の露出補正を行ってください。  
（例：ISO 100のフィルム使用時はISO 64にセット）
- ③外部調光ストロボを使用するときは、+ $\frac{2}{3}$ 段の露出補正を行ってください。  
（例：ISO 100のフィルム使用時はISO 64にセット）
- ④TTL自動調光撮影の場合は露出補正の必要はありません。

## IV カスタム機能

# カスタム機能

カスタム機能を利用して、より使い勝手の良いEOSにつくり変えてください。  
次の手順に従って、希望するカスタム機能をセットしてください。



**1** メインスイッチ⑱をAまたは(∞)に合わせます。

**2** スイッチカバー⑳を開け、フィルム巻き上げモード選択ボタン㉓と電池チェックボタン㉔を同時に押します。このとき、表示パネルのフィルム枚数計にカスタム機能の番号が表示されます。

**3** 電子ダイヤル㉔を回してお望みのカスタム機能の番号をセットしてください。

番号は1～15まであります。機能内容についてはP56, 57をご覧ください。

**4** 部分測光ボタン㉔を押すとカスタム機能がセットされます。表示パネルのバーマークで確認してください。通常仕様に戻すときは、再度1～4の操作を行ってバーマークの表示を消してください。

## EOS RTのカスタム機能 No. 1～15

No 1	撮影終了後のフィルムの自動巻き戻し機能を解除する ●自動巻き戻し解除時の巻き戻しは、途中巻き戻しボタンで行います。劇場、音楽会、野生動物の撮影など、静かな所で不意の巻き戻し音を選避するときなどにセットします。
No 2	フィルム巻き戻しの際、フィルムの先端部をパトローネ内に巻き込まない ●ご自分で現像されるときなどにご利用ください。
No 3	フィルムの自動感度セット機能を解除する ●増感、減感またテスト撮影から求めたフィルムの実効感度をセットするときなどに使用します。
No 4	AFを部分測光ボタンで行う ●構図を変えて撮影する際、ピントと露出の同時決定を避けたいときに便利です。部分測光ボタンを押してピントを合わせた後、指を離してもフォーカスはロックされます。
No 5	マニュアル露出時に、絞り値のセットを電子ダイヤルで行う ●シャッタースピードの切り換えは、手動絞りセットボタン、または表示パネル照明ボタンを押しながら電子ダイヤルを回します。
No 6	メインスイッチの (M) マーク位置で、手振れ警告音を消して合焦音のみとする ●カスタム機能No 1と同様、音が出せない場所での撮影に便利です。
No 7	USM(超音波モーター)レンズ使用の際、オートフォーカスでピントを合わせた後、必要に応じて即座に手動ピント合わせができる ●レンズのフォーカスモードの切り換えをその都度行わずにピントの微調整ができます。
No 8	評価測光を中央部重点平均測光にする ●New F-1と同じ中央部重点平均測光となります。

No 9	<p>絞り優先AEモードでストロボ使用時にシャッター速度を1/125秒にセットする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●シャッタースピードを固定するため、手振れの心配なしに絞り優先のストロボ撮影ができます。</li> </ul>
No 10	<p>一枚撮りモード時、即座に連続撮影を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●シャッターボタン押しに加えて、表示パネル照明ボタンを押すと瞬時に一枚撮りから連続撮影となります。</li> </ul>
No 11	<p>撮影後、シャッターボタンOFFでフィルム巻き上げを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リリース後シャッターボタンを離すと、フィルムの巻き上げが行われます。ご自分の望むタイミングまたは場所で巻き上げることができますので、カメラの作動音を嫌う場所でRTモードと組み合わせ使用すると便利です。</li> </ul>
No 12	<p>連続撮影モードで3枚だけ連続撮影を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●シャッターボタンを押し続けても、3枚だけの連写となる。なおNo 10の機能をセットしてあるときは、No 10の機能が優先して作動します。</li> </ul>
No 13	<p>予約多重露出の自動解除を行わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多重露出撮影後も自動解除とならないため、引き続いて多重露出撮影を行うときに有効です。</li> </ul>
No 14	<p>リアルタイム撮影モード時のリリースタイムラグをNew F-1と同じにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●New F-1で覚えたリリースタイムラグで、EOS RTを使用したいときにセットします。</li> </ul>
No 15	<p>セットしたカスタム機能を一時保留する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●セットしたカスタム機能を一時的に保留して、カメラを標準機能で使用したいときにセットします。</li> </ul>

## カスタム機能使用時の注意

- ①No 4のカスタム機能とリアルタイム撮影モードを組み合わせ使用したときは、部分測光ボタンでAFした後、シャッターボタンを押してください。操作順序を逆にするとAFを行いません。
- ②No 10のカスタム機能とAEBまたは多重露出を組み合わせた場合、AEBまたは多重露出撮影終了後、自動的に連写となります。

## 使用上のご注意

### 〈手入れ〉

どんなに優れたカメラでも適切な手入れをしなければ、その性能を十分に発揮できません。常に手入れをするように心がけてください。

手入れ用具：ブロワーブラシ、クリーナー液、クリーニングペーパー、シリコンクロス等

#### ①レンズとファインダー接眼部

ブロワーブラシで砂やほこりを吹き払い、クリーナー液を含ませたクリーニングペーパーで軽く拭き取ってください。

②カメラの反射ミラー、フォーカシングスクリーンはブロワーブラシで吹き払うだけにしてください。どうしても拭かなければならないときは、最寄りのキャノンサービスステーションにお持ちください。

#### ③フィルム室内

フィルムかすなどが付きやすいので、常にゴミをブロワーブラシで吹き払うようにしてください。ゴミや砂があるとフィルムを傷つける原因となります。

#### ④レール面や圧着板

クリーナー液とクリーニングペーパーを使用して拭いてください。

ください。

- 海辺で使用した後は、カメラに塩分が付着していただきますので特によく拭いてください。
- エアポンベタイプのブロワーの使用はおすすめできません。

### 〈保管〉

カメラケースを外し、電池を抜き取って、湿気やほこりのないところに保管してください。また、カメラは長期間使用しないでおくとカビや故障の原因となることがありますので、ときどきシャッターを切るようにしてください。特に保管する場合、次のような場所は避けてください。

- ①車のトランクやリヤウィンドーなどは高温になり、故障の原因となることがあるため避けてください。
- ②実験室などのような薬品を扱う場所はサビ・腐食などの原因になるため避けてください。同様にタンスの中なども避けてください。  
長期間使用しなかったカメラは、各部を点検してから使用してください。  
長期間使用しなかった後や、海外旅行など大切な撮影の前には、各部の作動を最寄りのキャノンサービスステーション、またはご自身でチェックしてからご使用ください。

## その他の注意

### 1. 表示パネルについて

カメラの表示パネルには液晶を使用しています。液晶はその性質上、通常の使用で5年程度経過すると表示が薄くなり読みにくくなることがあります。その場合は最寄りのキャノンサービスステーションで液晶の交換をご用命ください。(有料)

なお、液晶の特性で低温下で表示反応がやや遅くなったり、60°Cぐらいの高温下で表示が黒くなったりすることがありますが、常温に戻れば正常に表示されます。

### 2. bc 表示の点滅について

電池電圧が極端に低下した場合や、カメラが誤動作・故障した場合は、表示パネル上で **bc** が点滅することがあります。以下の操作を行ってください。

1) 7 ページの説明にしたがい、電池チェックボタンで電池電圧を確認します。

もし電池電圧が低下していれば電池を交換してください。

2) 電池電圧に問題がなければ、電池を一度取り出し、再度入れてください。

3) 一度シャッターを切ります。

以上の操作を行って、**bc** の点滅が消えれば、正常に撮影を続けることができます。しかし、この操作を何度繰り返しても **bc** の点滅が消え

ないときはカメラの故障です。最寄りのキャノンサービスステーションにお持ちください。

### 3. リチウム電池について (その1)

カメラは電池 (リチウム電池パック **2 CR 5, 6 V** 1個) を正しく入れてはじめて作動します。次のようなときは、まず電池をチェックしてください。

①電池を交換したとき

②長期間カメラを使用しなかったとき

③シャッターが切れなくなったとき

④寒冷地で撮影するとき

⑤その他、大切な写真を撮るときなど

●電池をカメラに入れるときは、電池接点の汚れや指紋などをよく拭き取ってください。そのまま入れると接触不良や腐食の原因となることがあります。

●長期間使用しないときは、電池を抜き取って保管してください。

●電池の分解や充電、高温下での放置、および接点をショートさせたり火の中に投げ入れることは、危険ですので絶対にしないでください。

●この電池は低温特性にも優れていますが、0°C以下ではやや電池性能が低下します。寒冷地でご使用になるときは予備の電池を用意し、ポケットな

どに入れ保温しながら交互に使用することをおすすめします。

#### 4. リチウム電池について (その2)

表示パネルの電池チェックマークが点滅または無表示となっても、シャッターが切れれば写真は適正露出になります。但し、電池電圧が低下しているため、自動巻き上げや自動巻き戻しができないことがあります。また、巻き上げ/巻き戻し途中でカメラが停止してしまったときは表示パネル上でフィルム給送マーク全体が点滅して警告をします。(巻き戻しは新品電池に交換した後、途中巻き戻しボタンを押せば継続作動します)。

#### 5. クォーツデートバックE(別売)の併用について

- 1) 写し込み機能を使用したときは、連続撮影の巻き上げのスピードが遅くなります。
  - 2) 連続撮影時はフィルムカウンターの写し込みが正常に行なわれません。
6. テクニカルバックEの使用はできません。

• 日付等の写し込み撮影をするときは、ISO 100以上のカラーフィルムを使用してください。それより低い感度、および、白黒フィルムをご使用になる場合は、最寄りのキヤノンサービスステーションへご相談ください。

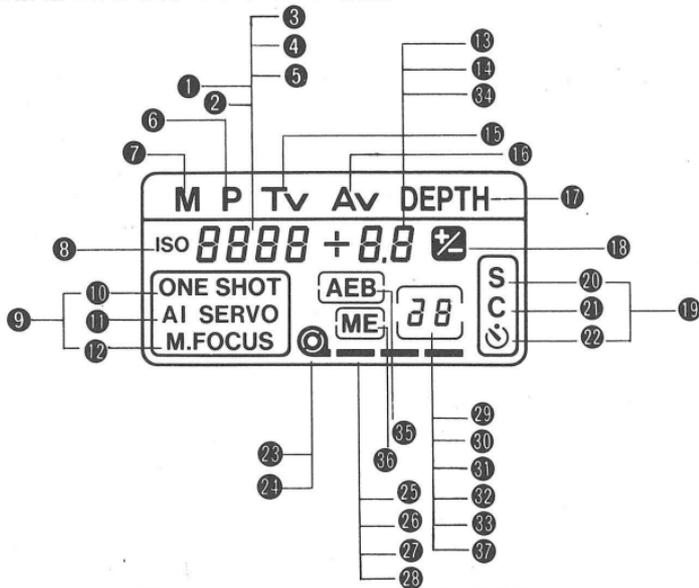
#### 7. フィルムのX線による感光防止について

フィルムはカメラに入っている場合でも、空港でのX線検査による感光は防止されません。フィルムが入ったカメラであることを検査官に伝え、X線の照射を避けてください。



# パネル表示一覧

このカメラは撮影のための情報を、大型の表示パネルに表示します。下の図は情報をすべて表示したもので、通常は必要な情報だけが表示されますので混乱する心配は全くありません。



- ①電池チェック
- ②深度優先A E表示  
(dEP1, dEP2)
- ③フィルム感度数値
- ④シャッター速度
- ⑤マニュアル露出レベル
- ⑥プログラムA E
- ⑦マニュアル露出
- ⑧フィルム感度
- 62 ⑨A Fモード

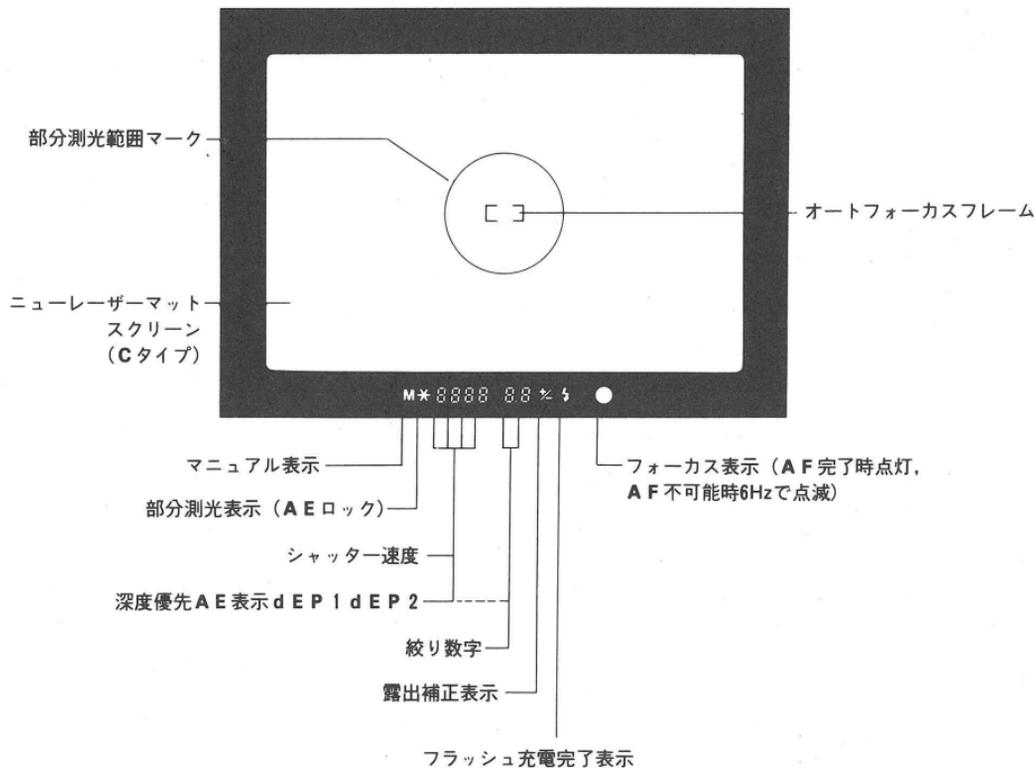
- ⑩ワンショットA F
- ⑪A IサーボA F
- ⑫手動ピント合わせ
- ⑬絞り値
- ⑭露出補正段数
- ⑮シャッター優先A E
- ⑯絞り優先A E
- ⑰深度優先A E
- ⑱露出補正表示
- ⑲フィルム巻き上げモード

- 20一枚撮り
- 21連続撮影
- 22セルフタイマー
- 23フィルム在否確認
- 24フィルム巻き戻し完了
- 25フィルム給送  
(巻き上げ巻き戻し)
- 26フィルム巻き上げ完了
- 27電池チェック
- 28カスタム機能セット

- 29フィルム枚数計
- 30イメージセレクト機能ナンバー
- 31カスタム機能ナンバー
- 32セルフタイマー秒時
- 33バルブ露出時間
- 34オートブラケティング段数
- 35オートブラケティング表示
- 36多重露出表示
- 37多重露出回数

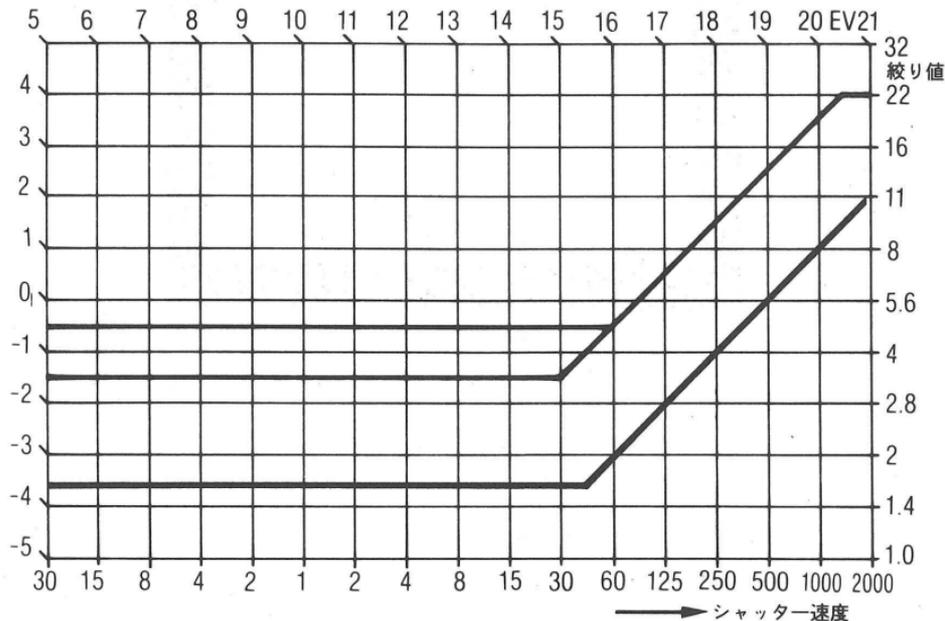
# ファインダー内表示一覧

下の図はファインダー内情報すべてを表示したのですが、実際は必要な情報だけを視野外に表示します。



## プログラム線図

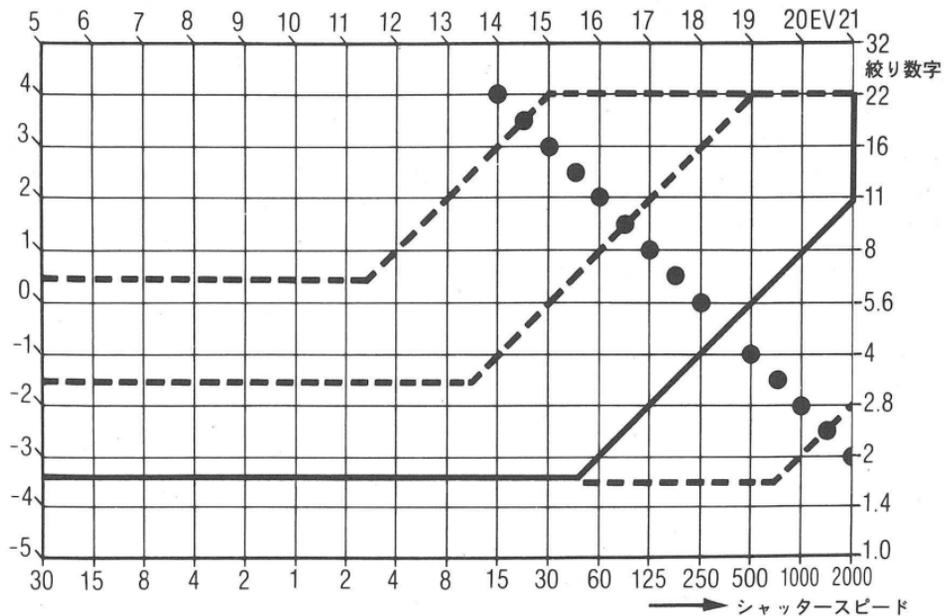
EOSは使用レンズの特性（開放および最小絞り数字，焦点距離など）に合わせて最適なプログラム線図を選びます。自動的にセットされたシャッタースピードが使用レンズの1/焦点距離マイナス0～0.5段の値になると手振れ警告音が鳴ります。これは一般に，1/焦点距離のシャッタースピード・秒が手持ち撮影の限界とされているためです。従ってプログラム線図は使用するレンズによってすべて異なりますが，ここでは代表的な2本のレンズを装着したときのプログラム線図を掲載しています。



緑：EF50mmF1.8を使用 黒：EF35-70mmF3.5-4.5を使用

# プログラムシフト特性

(EF50mmF1.8を使用, EV13での例)

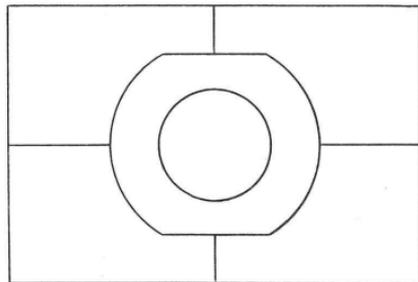


●はプログラム線図をシフトすることで可能なシャッタースピードと絞りの組み合わせです。

## 評価測光特性

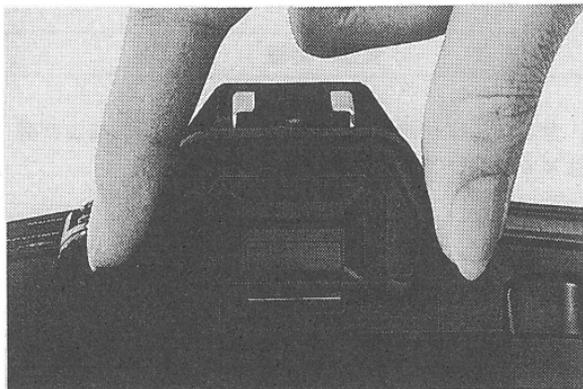
オートフォーカスカメラは、一般的にファインダー中央のAFフレームでピント合わせをしますので、ファインダー中央部に被写体を置きます。また写真は被写体を中央に入れて写すのが一般的な撮り方です。

これらのことからEOSは、被写体（ある程度以上の大きさのもの）が画面中央にあるという考えのもとに評価測光を行っています。画面を中央、中間、周辺（周辺は4分割）の6つに分けて測光します。また、評価測光は被写体のおおよその状況（黒いか白いか、背景は白か黒か、光線状態は通常か逆光か）と同時に大きさもある程度判断して露出を決めています。さらに特殊な状況では、条件に合わせて露出補正も行ってくれるようにしています。



# 視度補正レンズと交換用フォーカシングスクリーン

## 視度補正レンズ



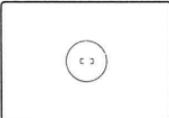
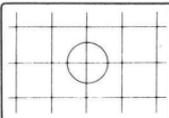
視度補正レンズEを取り付ければ、近視、遠視の方でも眼鏡なしで撮影することができます。カメラ本体の視度は-1ジオプターですが、交換用視度補正レンズとして計10種類あります。実際にカメラに取り付けてのぞいて確かめてからお選びください。

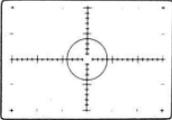
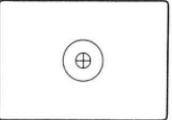
- 視度補正レンズEは、視度補正レンズ自身と着脱式のラバーフレーム（アイカップ）からできています。ラバーフレームを外せば、視度補正レンズはキャノンのAシリーズおよびTシリーズカメラにも取り付けてご使用になれます。

## 交換用フォーカシングスクリーン (EOSカメラ用)

撮影用途の違いによる便宜を図るため他に6種類の交換用フォーカシングスクリーンが用意されています。

**EOS RT**には**AF**フレーム付き全面レーザーマツト (**C**タイプ)が標準装備されています。

名 称	用途・特徴
A. 標準マイクロ 	一般, 全レンズに使用可能, F5.6より暗いレンズおよび接写ではマイクロプリズムにカゲリを生ずる。
B. ニュースプリット 	一般, 全レンズに使用可能。
C. <b>AF</b> フレーム付き全面 レーザーマツト 	一般, 全レンズに使用可能。
D. 方眼レーザーマツト 	一般, 全レンズに使用可能。目盛線があるため建築写真の構図決定に, 便利, また複写にも有効。

<p>H. 目盛線入りレーザー マット</p>		<p>全レンズに使用可能。目盛線が中央および周辺にあるため、撮影倍率や構図決定に便利、接写、拡大撮影に有効。</p>
<p>I. 十字線入りレーザー マット</p>		<p>中央十字線部空中像と十字線でピント合わせ可能。眼を左右に振ったときに、素通し部の像が十字線に対して動かなければ合焦、天体写真、顕微鏡写真などに有効。</p>
<p>L. クロススプリット</p>		<p>縦横両方向の線を使用してピント合わせ可能。F5.6より暗いレンズおよび接写はスプリット部にカゲリを生ずる。</p>

- フォーカシングスクリーンは高精度に仕上げられていますので、絶対に手で触れないでください。交換の際はフォーカシングスクリーン付属の専用チェンジャーをお使いください。なお、実際の交換方法はフォーカシングスクリーンの使用説明書をご覧ください。

- これらのフォーカシングスクリーンはEOS RT, 620, 630, 650専用です。他のカメラにはご使用になれません。

# 主要性能

---

(注意-①、②はカスタム機能で変更、標準仕様は①にセット)  
②、SW-1(スイッチ-1)とは、シャッターボタン半押しの状態、SW-2(スイッチ-2)とはシャッターボタンを押し切った状態)

## 型式

モータードライブ内蔵35mmフォーカルプレーンシャッター(縦走り)  
一眼レフレックスAE・AFカメラ

## 画面サイズ

24mm×36mm

## 使用レンズ

キャノンEFレンズ群(開放測光にて使用、絞り込み測光不可)

## レンズマウント

キャノンEFマウント

## オートフォーカス型式

TTL-SIR方式(二次結像位相差検出方式)

(\* SIR:Secondary Imaged Registration)

## AFモード

下記3モード切り換え可能

### ①ワンショットAFモード

一度合焦するとAF作動終了

\* AF優先: AF完了までシャッターは切れない

### ②動体予測・AIサーボAFモード

被写体の移動に追従し、合焦するまで常に動き続ける

\* SW-1 ON保持からの1コマ目: レリーズ優先, AF完了に関係なくいつでも撮影できる

\* 連写2コマ目以降: 被写体追従の必要に応じレンズ駆動後, レリーズ作動

### ③マニュアルフォーカス

①AFからマニュアルへの切り換えはレンズ側で行う

⑥USMレンズ使用時に限り、AF合焦後、AFモードのままで電子リング操作によるマニュアルフォーカス可能

#### AF作動

- ①シャッターボタン一段目ONにより作動
- ②部分測光ボタンONにより作動(この時①作動は不可)

#### AF合焦表示

ファインダー内LCD表示および電子ブザー音(ピピッ)による告知,合焦音の有無・選択(メインスイッチによる)可

#### AF測距輝度範囲

EV+1~18(ISO 100)当社試験条件による

#### 給送モード・AF測距・測光・絞り作動の関連

	1 駒目	2 駒目		
	測光	測光	連写速度	絞り作動
ワンショット	合焦と同時に AEロック	1 駒目の AEロック値	約5f/s	実絞り・絞り込み
動体予測・ AIサーボ	SW-2 ON時のリ アルタイム測光値	サブミラーダウン直前 のリアルタイム測光値	約3f/s	通常自動絞り作動 毎回開放復帰
マニュアル	SW-2 ONと同時に AEロック	1 駒目の AEロック値	約5f/s	実絞り・絞り込み

#### ファインダー型式

ペンタプリズム使用, アイレベル式一眼レフレックスタイプ

#### フォーカシングスクリーン

交換式オートフォーカスフレーム付き全面レーザーマットスクリーン(C型)標準装備, マウント部より交換可能

交換スクリーン: A, B, C, D, H, I, L型の7種類

#### 標準視度

- 1 dpt(アイポイント:19.3mm)

## 視野の大きさ

上下左右共94%

## 倍率

0.8倍(50mmレンズ・∞)

## ファインダー情報

下部：7セグメントLCD(黄緑色)による数値・文字点灯表示

- ①シャッタースピード(連動範囲外時：2 Hz点滅警告表示)
- ②絞り数値(連動範囲外時：2 Hz点滅警告表示)
- ③メータードマニュアル露出レベル( **0P, 00, CL** )
- ④被写界深度優先AEモード( **dEP1, deP2** )

下部：LCDマスク(黄緑色)による点灯表示

- ⑤ \*：AEロック(部分測光モード時のみ表示)
- ⑥ M：マニュアル
- ⑦ ：ストロボ充電完了
- ⑧ ：露出補正
- ⑨ ●：AF合焦(NG時：6 Hz点滅)

ファインダー内情報表示OFF不可

LCD情報照明(LED常時照明)内蔵

## ミラー

ペリクル膜使用固定式ハーフミラー(透過：反射=65:35)

## 深度確認

可能(専用ボタンワンタッチ操作・演算値絞り込み可能)

## 測光方式

SPC使用・TTL開放測光

- ①A評価測光
- ②中央部重点平均測光
- ③中央部部分測光( $\phi$  8 mm：ファインダー画面の約6.5%)

## AE制御方式

- ①シャッター優先AE(セーフティシフト機能なし)
- ②絞り優先AE(同上)
- ③インテリジェントプログラムAE(シフト可能)
- ④ストロボAE
- ⑤深度優先AE(シフト可能)
- ⑥マニュアル(メータードマニュアル)

\* ⑥のTv set ①電子ダイヤル

②手動絞りセットボタンONあるいは表示パネル照明ボタンON  
+電子ダイヤル

\* ⑥のAv set ①手動絞りセットボタンONあるいは表示パネル照明ボタンON  
+電子ダイヤル

②電子ダイヤル

## 測光範囲

EV -0.5~20(常温常湿・50mm f/1.4使用換算・ISO100)

## 連動範囲外警告

外部およびファインダー内LCDデジタル表示2Hz点滅

## フィルム感度

- ①ISO 6~6400, 1/3ステップ. DXコードによる自動セット  
(25~5000)マニュアルセットも可能
- ②マニュアルセットのみ(6~6400)

## 露出補正

- (1)AEB: オートエクスポージャーブラケットिंग
- (2)マニュアルセット 1/2段ステップ ±5段  
\* (1)(2)の組み合わせ使用可能
- (3)430EZ時, A-TTL, TTL自動調光露出レベルの補正  
ストロボ側セットにより, 1/3段ステップ ±3段

## AEロック

専用AEロックボタンによる(中央部部分測光に自動切り換え)  
(評価測光時は、AFロックで自動AEロックとなる)

## 多重露出

- (1) 多重回数 予約式, 一回の指定は最大 9 回(撮影途中再セット可能)
- (2) 解除 ①撮影完了後, 自動解除 手動途中解除も可能  
②手動解除

## シャッター形式

二重遮光縦走りフォーカルプレーン式全速電子制御シャッター  
先幕, 後幕各専用吸引式EM制御

## シャッタースピード

1/2000秒~30秒 ½ステップ LCDデジタル表示 X=1/125秒

## シャッターレリーズ方式

ソフトタッチ電磁レリーズ方式

## レリーズモード

- (1) 標準レリーズモード
- (2) リアルタイムレリーズモード

メインスイッチをリアルタイムレリーズモードにセットし, ワンショットAFまたはマニュアルフォーカスモードで使用。(AIサーボ時ワンショットAFに自動切り換え)合焦・AFロック後(マニュアルフォーカス時はSW-1 ONで)絞り込み・サブミラーダウンを行い待機, SW-2 ONでシャッター開放. 連写時, 絞り込みを保持.

\* 音による合焦・手振れ警告は行わない.

## レリーズタイムラグ

\* AF作動時間を除くレリーズタイムラグ

- (1) 標準レリーズモード……110ms
- (2) リアルタイムレリーズモード

①SW-1 ON待機後, SW-2 ONから露光開始まで……8ms

③SW-1 ON待機後, SW-2 ONから露光開始まで……40ms

## セルフタイマー

電子制御式 時限10秒

## フィルム装填

自動装填 フィルムカウンター「1」迄自動給送

## 手振れ警告

①ブザーモード プログラムAE, 絞り優先AE, 被写界深度優先AEモード使用時, 手振れ警告あり. シャッタースピード(Tv auto)が, 1/使用レンズの焦点距離, マイナス0~0.5段以下となった場合, 電子ブザー音(ピピピピ……)にて警告

②ブザーモードにても手振れ警告なし

## 給送モード

(1)①一枚撮影モード

②表示パネル照明ボタンONで連続撮影

(2)①連続撮影モード

②3コマ連続撮影

## 巻き上げ開始

(1)一枚撮影モード: ①露光完了信号により巻き上げ開始

②露光後, SW-1 OFFにより巻き上げ開始

(2)連続撮影モード: 露光完了信号により巻き上げ開始

## 巻き上げ速度

(1)連続撮影

フォーカスモード	連写速度(f/s)
ワンショットAF	約5枚
動体予測サーボAF	約3枚
マニュアル	約5枚

(2)一枚撮影：通常連続撮影モードと同等速度で一回巻き上げ

### 巻き上げ本数

新品2CR5・24EXフィルム・EF 50mm f/1.8使用にて下表の通り

温度	一般撮影	連続撮影
常温(+20℃)	75本	150本
低温(-20℃)	8本	15本

※データは当社テスト条件による。

### フィルム巻き戻し

#### (1)オート

##### ①下記条件でオートリバース

- 1) 36枚撮影終了後オートリバース
- 2) フィルム終了(突っ張り)検知後オートリバース

##### ②フィルム終了停止後、マニュアル巻き戻しボタンONにより自動巻き戻し

#### (2)途中巻き戻し

マニュアル巻き戻しボタンONにより随時途中巻き戻し可能

### 巻き戻し停止

- ①パトローネ内にリーダー部巻き込み自動停止
- ②リーダー部残し自動停止

### フラッシュ接点

X接点 アクセサリーシュー部(ロック付き)に直結接点あり

### フラッシュオート

ボディ本体プログラムAEモードセットにて

#### (1) A-TTL自動調光(A:Advanced)

充完によりシャッタースピードを同調秒時(1/125~1/60秒)に自動セット、ボディ本体のA-TTLプログラムおよびストロボによる近赤外光プリ発光により、撮影距離、被写体条件(輝度)に応じた最適調

光絞リ値を自動セット。遠距離側調光連動範囲外、撮影前警告あり。フィルム面反射光測光によるTTL自動調光制御。自動日中シンクロ可。

(2) TTL自動調光

充完によりシャッタースピードを同調秒時(1/125~1/60秒)に自動セット、ボディ本体のTTLプログラムにより、調光絞リ値を自動セット。フィルム面反射光測光によるTTL自動調光制御。自動日中シンクロ可

\* 上記(1)(2)共、ボディ本体シャッター優先AEモードセットにて1/125秒以下の任意(0.5段毎)の同調シャッタースピード、絞リ優先AEモードセットにて任意の絞リ値選択セット可能。

(3)その他

1) T, Aシリーズストロボはマニュアル露出にて使用

\* シャッタースピード：1/125~30秒・マニュアルセット

\* 絞リ：ボディ・ストロボ共、同一絞リ値をマニュアルセット

2) 汎用ストロボ

一般小型ストロボ：1/125秒以下で同調撮影可

スタジオ用大型ストロボ：1/125秒以下で同調撮影可

(\* 但し、発光時間との関連要確認)

## カスタム機能

ユーザー選択可能カスタム機能15種内蔵

## 電源

リチウム電池2CR5, 1個 6V 本体底部に収納

グリップを取り外すことにより交換可能

## バッテリーチェック

BCボタン押し、LCD表示パネルバーマーク3段階表示

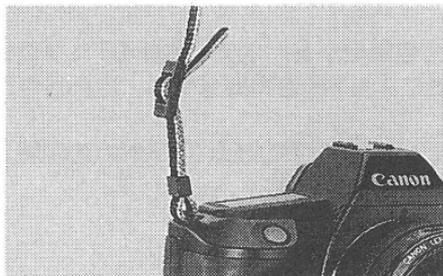
## 大きさ

148(W)×108.3(H)×67.5(D) mm

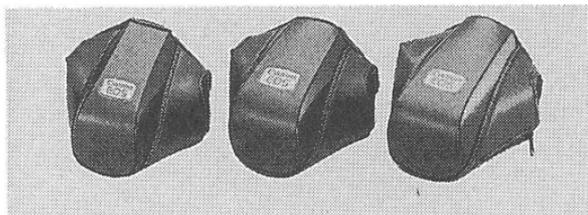
## 重量

660gr(リチウム電池なし、電池込みの場合は+40gr)

## ストラップの取り付け方

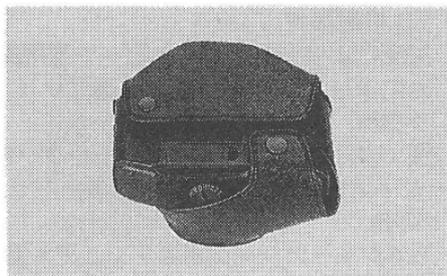


ストラップ（吊りひも）の先端は、止め金の内側になるように通してください。



## アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、10年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。



- ケース（別売り）は写真のようにして取り付けます。ケースのご紹介以下の3種類があります。

- ① セミハードケースEH1-S-EF50mm F1.8 EF50mm F2.5マクロを取り付けて収納可能。
- ② セミハードケースEH1-L-EF35-70mm F3.5-4.5 EF28-70mm F3.5-4.5IIを取り付けて収納可能。
- ③ セミハードケースEH1-LL-EF35-105mm F3.5-4.5を取り付けて収納可能。

②① ファインダー接眼部

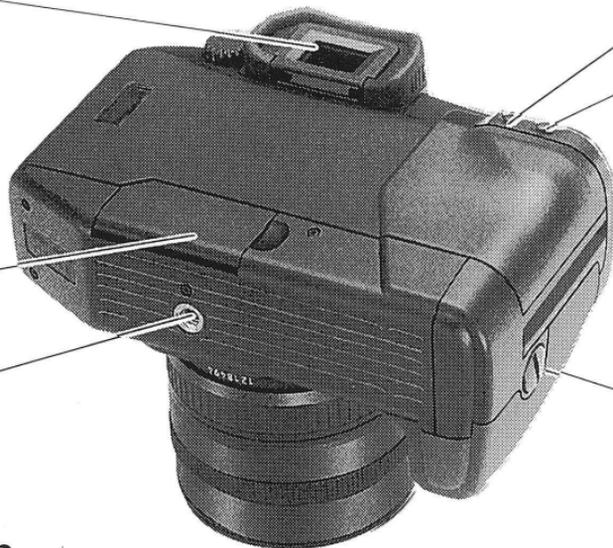
②⑤ 表示パネル照明ボタン

②④ 部分測光ボタン

②① スイッチカバー

②② 三脚ねじ穴

②③ グリップねじ



スイッチカバー内 ②⑥ ②⑦ ②⑧ ②⑨

②⑥ 途中巻き戻しボタン

②⑦ AFモード選択ボタン

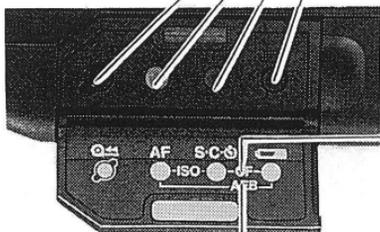
②⑧ フィルム巻き上げモード選択ボタン

②⑨ 電池チェックボタン

②⑦ ONE SHOT (ワン・  
ショット：止まっているものを撮るとき) か  
SERVO (エーアイサーボ：動いているものを撮るとき) を選びます。

②⑧ S (Single:一枚撮り) か  
C (Continuous:連続撮影、秒間最高約5枚) を選びます。

オートブラケティング機能セット



カスタム機能セット

茶字：一度押してしまえば、指を離しても6秒以内ならば電子ダイヤルを回すだけの操作で機能がセットできます。